

令和 5 年度大津市歴史博物館活動報告



大津市歴史博物館

目 次

令和5年度の事業結果について

◇大津市歴史博物館の基本的運営方針

〔基本的運営方針1〕地域に埋もれた歴史と文化をともに調べ、ともに守る

-
- ・活動目標(1) 資料の調査収集・研究活動の推進
 - ・活動目標(2) 調査情報のデータ化と収蔵資料の充実
 - ・活動目標(3) 地域資料の保存、活用に向けた情報の共有化と学習支援の推進

【1-1-1】博物館資料の収蔵状況（収集資料件数・新収蔵資料）	…	1
【1-1-2】未指定文化財調査事業の進捗状況	…	8
【1-1-3】資料調査の実施状況	…	10
【1-1-4】大津市歴史博物館調査報告書の発行	…	11

〔基本的運営方針2〕あらゆる世代・地域に対し、歴史情報の共有化に向けた情報発信を行う

-
- ・活動目標(1) 常設展示の充実
 - ・活動目標(2) 企画展示の充実
 - ・活動目標(3) 子ども・若者に対する学習支援の推進
 - ・活動目標(4) 幅広い世代に向けた積極的な情報発信

【1-2-1】常設展示観覧者数	…	12
【1-2-2】企画展「湖都大津の災害史」	…	13
【1-2-3】企画展「発掘された大津の歴史」	…	15
【1-2-4】企画展「近江堅田 本福寺」	…	19
【1-2-5】企画展「写真展 50年前の琵琶湖・堅田」	…	22
【1-2-6】れきはく講座等の実施状況	…	24
【1-2-7】講座以外の普及活動	…	26
【1-2-8】市内小中学校等による博物館利用状況	…	31
【1-2-9】情報発信(広報・SNS)の状況	…	33

〔基本的運営方針3〕大津市の歴史と文化の普及に携わるさまざまな組織の活動と連携し、支援体制を築き、歴史情報のセンターとしての役割を担う

-
- ・活動目標(1) 大津市各部局および市内大学、各種団体、文化施設等との連携
 - ・活動目標(2) 歴史と文化情報のセンターとしての役割を担う

【1-3-1】講師・調査派遣等の状況	…	35
【1-3-2】収蔵資料の貸出し状況・特別利用の状況	…	37
【1-3-3】貸しギャラリーの利用状況	…	38
【1-3-4】施設の活用（キッチンカー・ロビー展示等）	…	39

〔参考1〕大津市歴史博物館の概要について	…	41
〔参考2〕大津市歴史博物館の基本的運営方針と活動目標について	…	43
〔参考3〕条例・規則	…	49

〔議題1〕令和5年度の事業結果について

【1-1-1】博物館資料の収蔵状況

◇収集資料件数

	購 入	受 贈	受 託	合 計
絵 画	170件 (+5件)	73件 (+2件)	254件	498件 (+8件)
彫 刻	1件	1件	36件 (+2件)	38件 (+2件)
工 芸	40件	40件 (+2件)	47件 (+1件)	127件 (+3件)
書 跡	28件	21件	40件 (-2件)	89件 (-2件)
古 文 書	27件 (+3件)	28件 (+1件)	74件 (+7件)	129件 (+11件)
考 古	0件	5件	12件	17件
歴 史	37件	225件 (+7件)	81件 (-4件)	343件 (+3件)
民 俗	0件	22件	9件	31件
合 計	303件 (+8件)	415件 (+12件)	553件 (+4件)	1,271件 (+24件)

(令和6年3月末現在)(※減少は寄託品の返却、寄託品の受贈等による)

◇新収蔵資料(令和5年度収集資料)

(第1回)令和5年8月4日答申

(第2回)令和6年2月21日答申

<購 入>

	種別	名称	員数
1(前年度答申)	絵画	栄久堂板 近江八景之内 比良暮雪 歌川広重画	1枚
2(第1回)	絵画	大津絵 十三仏	1面
3(第2回)	絵画	大津絵 鬼念仏 岩崎象外賛	1幅
4(第2回)	絵画	大津絵 鬼念仏	1幅
5(第2回)	絵画	近江八景之内 辛崙の夜雨 溪斎英泉画	1枚
6(第1回)	古文書	旧膳所藩史料	一括
7(第1回)	古文書	園城寺花光坊親存売券案	1通
8(第2回)	古文書	葉屋傳兵衛家文書	一括

<受 贈>

	種別	名称	員数
1 (第1回)	工芸	瓢花入「雀の御宿」山元春挙銘・賛 付：春挙箱書桐箱	1口
2 (第1回)	工芸	赤楽茶碗 岩崎健三作・邨松雲外面賛	1客
3 (第2回)	絵画	厨子入日吉山王垂迹神曼荼羅図 附：鏡・香炉・宝珠・海老錠	1幅
4 (第2回)	絵画	大津絵十種図 四代目高橋松山筆	3面
5 (第2回)	古文書	元持家文書	一括
6 (第2回)	歴史資料	木村家資料	一括
7 (第2回)	歴史資料	大津町古絵図（市指定文化財）	1幅
8 (第2回)	歴史資料	山田家資料	一括
9 (第2回)	歴史資料	膳所総絵図（市指定文化財）	1鋪
10 (第2回)	歴史資料	中村家資料	一括
11 (第2回)	歴史資料	茂呂家資料	一括
12 (第2回)	歴史資料	昭和初期16ミリフィルム	6巻

<購 入>

購入1 絵画 栄久堂板 近江八景之内 比良暮雪 歌川広重画 江戸時代 1枚

歌川広重の代表作である保永堂・栄久板近江八景。収蔵対象となったのは比良暮雪で、コンディションや摺りの質が良く、今回で堅田落雁を除く7種がコレクションされた。

購入2 絵画 大津絵 十三仏 江戸時代 1面

初期の大津絵十三仏と考えられる作例。墨色のみの描画であるものの、描線や版木押しサイズ等の特徴から、大津絵の初期段階を示すものと考えられる。

購入3 絵画 大津絵 鬼念仏 岩崎象外賛 江戸時代 1幅

鬼念仏の作例中、最初期に位置すると見られる大津絵。上部には後補の足し紙があり、18世紀の大坂の画人・岩崎象外による着賛がある。

購入4 絵画 大津絵 鬼念仏 江戸時代 1幅

18世紀前半のものと考えられる大津絵鬼念仏。表装に用いられた自然布などにより、柳宗悦(1889～1961)が、民藝運動のなかで考案した大津絵の表装として仕立てられている。

購入5 絵画 近江八景之内 辛酉の夜雨 溪斎英泉画 江戸時代 1枚

溪斎英泉(池田英泉、1791～1848)による近江八景(唐崎夜雨)。文化・文政年間にかけて流行した、藍と鬱金の混色による緑と鬱金の黄、紅花による色摺りが特徴的な錦絵。

購入6 古文書 旧膳所藩史料 江戸～明治時代 一括

明治維新期の膳所藩の藩政史料で、江戸藩邸での執務日誌や復祿請願関係で構成される。明治初年の廃藩置県前後の同藩の動向や藩士の動きを知ることのできる資料群として貴重。

購入 7 古文書 園城寺花光坊親存売券案 安土桃山時代 1通

園城寺子院の花光坊親存が（同寺）公文所に宛てた売券の案文（下書き）。花光坊が百姓職（耕作・収入）の権利をもつ志賀郡大津東浦にある田地を、現米 4 石で園城寺惣寺（老若の僧衆）へ売り渡すことを確認したもの。

購入 8 古文書 葉屋傳兵衛家文書 江戸時代 一括

大津下小唐崎町で煙草を営む葉屋傳兵衛家に伝来した古文書群。正徳～享和年間にかけての銀子書付や奉公人請状などの家・商売関係、文政 3 年（1820）前後の大津町政に関する願書等で構成される。大津町（宿）に関する数少ない貴重な資料として評価できる。

<受 贈>

受贈 1 エ芸 瓢花入 「雀の御宿」山元春挙銘・賛 付：春挙箱書桐箱

大正～昭和時代（戦前） 1口

山元春挙（1872－1933）は竹や瓢を収集し、職人たちに加工作を依頼したり、自ら画や賛をしたりして楽しんだ。作品は、瓢筆を掛花入にしたもの。

受贈 2 エ芸 赤楽茶碗 岩崎健三作・邨松雲外画賛 大正～昭和時代（戦前） 1客

岩崎健三が復興した膳所焼の赤楽茶碗に邨松雲外（1870～1938、愛知郡小田苧村出身。晩年は石山寺辺村在住）が絵付けしたもの。

受贈 3 絵画 厨子入り日吉山王垂迹神曼荼羅図 江戸時代 1幅

日吉大社の旧巫女家に伝わった厨子入りの山王曼荼羅。描表装で、画面に大きく社殿内に山王上七社の垂迹神を配し、手前の大床に早尾と大行事、そして赤山明神を描く。

受贈 4 絵画 大津絵十種図 四代目高橋松山筆 平成時代 3面

市指定無形文化財保持者・大津絵師高橋松山家の四代目松山（1933～2018）が、席画で描いた襖絵。略筆大津絵の作風を用いて一気に描かれている。

受贈 5 古文書 元持家文書 江戸～明治時代 一括

膳所藩郷代官（大庄屋的存在）や戸長を務めた元持家（上田上中野）に伝来した古文書群。郷代官・戸長の職務に関わるものなどで構成され、膳所藩政史や地域社会の近代史が明らかとなる。

受贈 6 歴史資料 木村家資料 江戸～昭和時代（戦後） 一括

大津船持仲間「大津百艘船」に伝来した資料群（重要文化財）旧所蔵者の家に残されてきたもので、荷問屋株鑑札や「湖水船賃銭」など、江戸時代の琵琶湖水運を考える上で重要な資料群。

受贈 7 歴史資料 大津町古絵図（市指定文化財） 江戸時代 1幅

江戸時代中頃の大津町を描いた古地図で町や寺院、舟入などを詳細に描き込む。当該期の都市や港湾の様子を知ることのできる貴重なもの。

受贈 8 歴史資料 山田家資料 江戸～平成時代 一括

大津市長を務めた山田豊三郎氏に関する資料群で、同家が所在した大津太間町（太間町自治会）に関する町内会資料や、豊三郎氏によって書き残されたメモなど市政に関わる資料で構成される。

受贈 9 歴史資料 膳所絵図（市指定文化財） 江戸時代 1 鋪

元禄 15 年（1702）の膳所城と城下町を描いた大絵図。藩士の屋敷や町家の数値なども記され、江戸時代の膳所城下の構造を考える上で希有な古地図。

受贈 10 歴史資料 中村家資料 江戸～昭和時代（戦後） 一括

膳所藩士中村家に伝来した古文書や絵画、器物などの資料群。同家は勘定人や検地役人など、藩領支配の任にあり、職務にかかる内容が日記類や勤方書（業務マニュアル）に綴られている。

受贈 11 歴史資料 茂呂家資料 江戸時代 一括

大津下小唐崎町で煙草屋を営んでいた茂呂家伝来の資料。江戸時代中期の当主画像や同家の由来に関わる書付など 4 点で、大津町人の来歴を知ることのできる資料。

受贈 12 歴史資料 昭和初期 16 ミリフィルム 昭和時代（戦後） 6 巻

大津市中央在住の医師増田氏が撮影した 16 ミリフィルム。昭和 8 年（1933）～同 12 年までの家庭生活や行楽地に出かけた際の記録で、大津祭曳山など県内の様子が多く確認できる。

(令和5年度収集資料画像写真)

<購入>



購入1 近江八景之内
比良暮雪
江戸時代 1枚



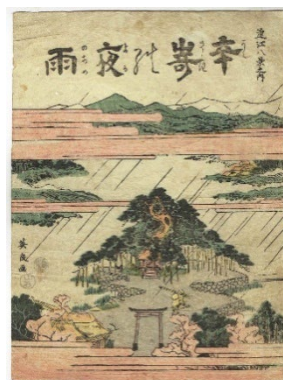
購入2 大津絵 十三仏
江戸時代 1面



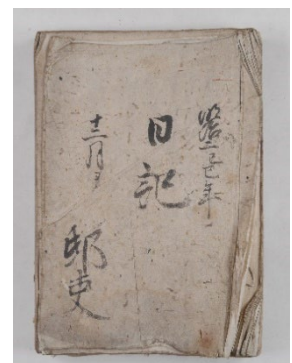
購入3 大津絵 鬼念仏
岩崎象外賛
江戸時代 1幅



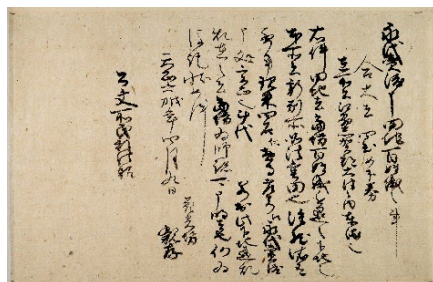
購入4 大津絵 鬼念仏
江戸時代 1幅



購入5 近江八景之内 辛酉の夜雨
溪斎英泉画
江戸時代 1枚



購入6 旧藩所藩史料
江戸～明治時代 一括



購入7 園城寺花光坊親存売券案
安土桃山時代 1通



購入8 葉屋傳兵衛家文書
江戸時代 一括

<受 贈>



受贈1 瓢花入 「雀の御宿」
山元春挙銘・賛
大正～昭和時代（戦前） 1口



受贈2 赤楽茶碗
岩崎健三作・邨松雲外画賛
大正～昭和時代（戦前）1客



受贈3 厨子入日吉山王垂迹神
曼荼羅図
江戸時代 1幅



受贈4 大津絵十種図
四代目高橋松山筆
平成時代 3面



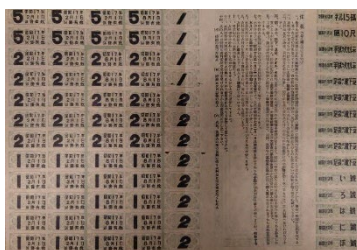
受贈5 元持家文書
江戸～明治時代 一括



受贈6 木村家資料
江戸～昭和時代（戦後）
一括



受贈7 大津町古絵図
（市指定文化財）
江戸時代 1幅



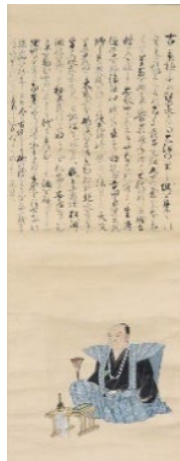
受贈8 山田家資料
江戸～平成時代 一括



受贈9 膳所総絵図
（市指定文化財）
江戸時代 1鋪



受贈１０ 中村家資料
江戸～昭和時代（戦後）
一括



受贈１１ 茂呂家資料
江戸～明治時代 一括



受贈１２ 昭和初期１６ミ
リフィルム
昭和時代（戦前） ６巻

【1-1-2】未指定文化財調査事業の進捗状況

本市には、国・県・市から指定を受けた文化財が数多くあるが、未だ把握できていない未指定の文化財が多く残されている。令和元年に策定された「大津市歴史文化基本構想」では、歴史文化の保存に向けた基本方針のなかで、市民や市民団体、専門家、関係機関、行政等の協働による歴史文化遺産の調査を推進することが挙げられた。博物館ではこれまで展覧会や地元の要望等にあわせてこうした調査を行ってきたが、生活様式の変化や後継者不足、管理体制の問題などから、近年存続の危機に瀕している歴史文化遺産が多くなっていることをふまえ、今後は主体的な調査研究に取り組み、所有者や地域とのつながり、専門家や関係機関、行政などとの協働を取り入れながら様々なテーマで調査を行い、その成果を還元する。

令和5年度は、令和4年度から始まった調査について継続して調査を行った。

◇研究テーマ

①【大津の食文化資料調査プロジェクト】

大津市内の食文化や産業に関連する資料の総合調査。大津市内の食に関する企業等に保存されている歴史資料（古文書・近代以降のパンフレットや関連資料、制作道具等）を総合的に調査し、本市の食文化の一端を明らかにする。まずは、大津市史等で資料の所在が確認できている、和菓子と酒造に関する調査から始める。

令和5年度は、引き続き立命館大学食マネジメント学部の鎌谷かおる研究室との調査体制もとて、市内に所在する酒造関係資料の整理・撮影を行なった。また、和菓子については、立命館大学グラスルーツ・イノベーション・プログラム（GRIP）に採択されたことにともない、同事業内において和菓子作りワークショップ（2回開催）などを行なった。

②【市内寺社未指定文化財調査】

大津市は、京都市や奈良市に次いで全国で3番目に指定文化財の件数が多く、このうち9割以上が市内の寺社が保有している。市内には数多くの寺社が所在しているが、いまだ未調査の社寺が多くあり、文化財的価値がある宝物が眠っていることが予想される。歴史博物館では、文化財所有者による保存や防犯等に関する相談も近年多くなっていることから、彫刻、絵画、工芸品、聖教など各分野による未指定文化財の総合的調査を計画的に行っていく。

本年度は、石山寺と園城寺、浄土真宗系、天台宗を中心にして、下記の通り32か所、52回の調査を行った。

訪問場所	石山寺	園城寺	浄土真宗系	天台宗	天台真盛宗
場所（回数）	10回	10回	9か所（9回）	6か所（7回）	3か所（3回）
訪問場所	延暦寺	浄土宗	神社	曹洞宗	その他
場所（回数）	2回	4か所（4回）	2か所（2回）	1か所（1回）	4か所（4回）

調査では、平安時代（11世紀）の地蔵菩薩立像をはじめとして、今まで知られていなかった平安、鎌倉、南北朝時代の仏像や、中世に遡る仏画、その他文化財的価値のある宝物を多く確認。また、年に2冊の『未指定文化財調査報告書』の刊行を開始し、成果を公開していく予定である。

③【大津町絵図プロジェクト】

江戸時代～明治時代の大津町（現在の中心市街地）を描く絵図「大津町絵図」は、全国の関係機関に収蔵されている。これは、かつて大津町に蔵屋敷・蔵元を設置した大名・旗本・寺社ら領主が、都市空間把握のために作成したと考えられるもので、藩政史料などのアーカイブや城下町図集などに多く残されている。本調査研究では、全国に所在する大津町絵図の調査とデジタルデータの収集を通じ、①江戸時代～明治時代の大津町の都市景観の把握のための資料として「大津町絵図データベース」を作成し（情報蓄積）、②許諾を得たものを順次当館HP古地図データベースにおいて、大津町の都市空間の変遷検討のための基礎データとして広く公開する（すでに各機関で公開されているものはリンクなど）。そして、③時宜に応じて、大津町絵図を紹介する展覧会を行う。

令和5年度は、未撮影の当館蔵（新規を含む）の大津町全図及び各町絵図の高精細写真撮影を実施し、新たに合わせて13点の大津町絵図関係のデータを収集することができた。

④【未指定文化財調査報告書発刊事業】

令和元年に策定された「大津市歴史文化基本構想」では、文化財の保存・活用の仕組みづくりとして、調査研究体制の整備や市民の興味関心を高める機会の提供が方針として掲げられた。本事業は、古文書・歴史資料について、市民参加を得て史料集を発刊、あわせてHPでの公表を行う。また、寺社の未指定文化財調査の成果（仏像）を刊行していく予定である。

令和5年度は『大津百艘船』2冊と『園城寺の彫刻』（上・下）の計4冊を刊行した。

⑤【館蔵品や未指定文化財の燻蒸】

未指定文化財調査等で発見、確認された文化財の保全をするために年2回の燻蒸を行っている。令和5年度は、1回目は石山寺における悉皆調査と関連して、石山寺の軸類や屏風、聖教類を中心に、2回目は新たに確認された園城寺や西教寺の聖教や古文書、新収蔵品などを中心に行った。

また、文化財修復については、館蔵品の瀬田国民学校絵日記（市指定）の文化財修復を現在行っているところである。

⑥【文化財3Dレーザースキャナー計測事業】

通常の方法では大きすぎて計測できない丈六仏や摩崖仏などについて、文化財3Dレーザースキャナー計測を行うことで、正確な法量計測や、破損状況などの現状を把握する。令和5年度は、滋賀里の「志賀の大仏」と藤尾奥町・寂光寺の「藤尾摩崖仏」の計測を行った。

⑦【古文書・歴史資料整理・調査事業】

大津市内に伝来している古文書のうち、量が多くて重要なものについては、大学と共同で調査を行っている。令和5年度は、当館寄託のもと膳所の中村家文書（約20箱）と伊香立の龍家文書（約10箱分）について、佛教大学と京都府立大学と共同調査を行った。

【1-1-3】資料調査の実施状況（令和5年度）

本館では、継続的な資料調査の他に、他機関・専門家等との合同による資料調査を行っている（継続も含む）。

（1）科学研究費補助事業、大学・研究機関への協力・共同調査

- ・基盤研究B「越境する教義問答－東アジア仏教における国際的な相互交流－」（課題番号20H01186：代表者大谷由香〔龍谷大学〕令和2年～7年）

上記科研の研究協力者として、大津市内に所在する聖衆来迎寺や法明院、西教寺に伝来する聖教の調査研究を実施。

- ・基盤研究C「園城寺所蔵中世天台関係聖教の調査による天台談義書ネットワークの解明」（課題番号22K00299：代表者渡辺麻里子〔大正大学〕令和4年～令和8年）

- ・若手研究「船道郷土文書を基軸とした近江国堅田地域史料の再構築と通時代的研究」（課題番号20K13188：代表者高橋大樹〔佛教大学〕令和2年～令和6年）

館蔵居初家文書をはじめ、堅田に関わる文書・記録の悉皆調査を実施。

- ・立命館大学グラスルーツ・イノベーションプログラム（GRIP）「『菓都大津』再興プロジェクト」（代表者：鎌谷かおる）

滋賀県大津市における菓子文化への再評価と定着を目指すプロジェクト。菓子文化の理解、継承、担い手育成のため、菓子店への聞き取りや資料調査、祭礼行事調査、文化継承作業、栄養的評価等を行う。

（2）その他の調査

- ・歴史博物館れきはく講座受講者で、古文書読解を目的とする有志で結成された研究会と、館蔵文書・関係文書の整理・解読を進めている。（平成25年～）

【1-1-4】 大津市歴史博物館調査報告書の発行

本館では、館蔵資料・市内文化財の調査について、その成果をまとめた報告書の発行を令和3年度から行っている。5年度も、市民グループ（大津古文書輪読会）との共同で、古文書を解読した史料集（2冊）を発行した。

令和元年10月に策定された「大津市歴史文化基本構想」では、文化財の保存・活用のための仕組みづくりとして、調査研究体制の整備や市民の興味関心を高める機会の提供が方針として掲げられている。本事業は市民参加による調査・研究の取り組みに資するものと考え、その成果物の発行は、市民参加による研究活動の成果であるとともに、大津の歴史研究の基礎資料として活用できる。なお、本報告書は、少部数の印刷物を県内図書館・研究機関等に配布し、史料集全文を本館ホームページで公開する。

また、未指定文化財調査関連報告として、「園城寺の彫刻」（上・下）を発行し、県内図書館・研究機関等に配布する。

〔令和5年度発行〕

（1）『大津市歴史博物館調査報告書5 大津百艘船万留帳3』

『大津市歴史博物館調査報告書6 大津百艘船万留帳4』

- 重要文化財「大津百艘船関係資料」のうち「万留帳」の寛政13年（1801）～文化5年（1808）の8年分の史料集2冊（万留帳3：136頁、万留帳4：130頁）。
- 江戸時代に琵琶湖水運の中心的役割を担った大津百艘船が書き継いだ留帳で、大津町の様子や琵琶湖水運の実態に迫る記録。

（2）『大津市歴史博物館調査報告書7 園城寺の彫刻（上）』

『大津市歴史博物館調査報告書8 園城寺の彫刻（下）』

- 園城寺の彫刻（上）では、天台寺門宗総本山園城寺に伝来するすべての彫刻（仏像・神像）について、写真と簡易調書を網羅的に掲載し、墨書銘などの銘文も集成した。園城寺の彫刻（下）では、主要彫刻67件について写真と詳細な調書を掲載した。（上巻：92頁、下巻：78頁）

※令和6年度は、報告書5「大津百艘船万留帳5」等を発行予定。

【1-2-1】 常設展示観覧者数（令和5年4月～令和6年2月）

（単位：人）

	個人				団体				市内障がい者等	歴博カード会員	減免・招待	計	前年
	一般	市内65歳以上	高大	小中	一般	市内65歳以上	高大	小中					同月
4月	426	29	27	25	215	81	79	0	60	157	671	1,770	2,443
5月	439	42	26	15	657	14	56	2	27	70	73	1,421	1,159
6月	348	39	21	15	179	8	28	0	23	63	102	826	809
7月	533	54	54	79	231	54	4	1	36	229	156	1,431	1,113
8月	482	7	61	183	223	85	47	24	39	222	269	1,642	2,461
9月	337	21	49	28	105	30	45	174	44	79	88	1,000	1,261
10月	576	46	44	29	294	98	4	0	19	185	470	1,765	2,273
11月	398	28	43	27	235	101	3	1	34	223	1,324	2,417	3,139
12月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	443
1月	839	222	41	78	389	74	54	0	87	86	283	2,153	635
2月	951	162	68	89	780	39	36	6	54	132	236	2,553	737
3月	875	154	41	57	797	50	48	11	43	202	169	2,447	1,809
計	6,204	804	475	625	4,105	634	404	219	466	1,648	3,841	19,425	18,282

※合計は3月分を除く

対前年比 1,143

※特集展示「源氏物語と大津」設営や館内改修工事のため、11月20日～1月9日の期間は常設展示室を休室した。

【参考】 常設展示観覧料

個人 一般330円 高校生・大学生240円 小学生・中学生160円

団体 一般260円 高校生・大学生190円 小学生・中学生130円

※団体は15人以上。

※大津市内在住の65歳以上の人は、小中学生料金と同額。

※大津市内在住の障がい者、介護保険の要介護者・要支援者及びその介護者1名は無料。

※歴博カード会員（一般2,000円 高大1,500円 小中1,000円）は記名本人のみ、登録から1年間有効で、常設展示ほか本館主催の企画展を何度でも観覧可能。

※ミニ企画展は、常設展示観覧料で観覧可能。

【1-2-2】総合地球環境学研究所共催展（第89回企画展）「湖都大津の災害史」

- 1、会 期 令和5年3月4日(土)～4月16日(日) [開館日数37日間]
- 2、会 場 大津市歴史博物館 企画展示室A
- 3、主 催 大津市、大津市歴史博物館、総合地球環境学研究所
- 4、後 援 朝日新聞大津総局、e-radio、NHK大津放送局、共同通信社大津支局、京都新聞
KBS京都、産経新聞社、時事通信社大津支局、(株)ZTV滋賀放送局、中日新聞社、
日本経済新聞社大津支局、BBCびわ湖放送、毎日新聞大津支局、読売新聞大津支局
- 5、観覧料 一般500円(400円) 高大生300円(240円) 小中生200円(160円)
- 6、展示作品 112件
- 7、入館者数 2,461人(うち有料観覧者1,699人 無料観覧者762人)
◇有料観覧者数 内訳
個人 一般:571人 高大生:37人 小中生:39人
割引 一般:356人 高大生:82人 小中生:0人
市内(65歳以上)割引:218人 歴博カード会員:396人

8、関連講座

[れきはく講座]

3月18日(土)14時30分～16時 会場:大津市歴史博物館講堂

タイトル:土砂留め奉行-淀川水系の砂防を担う-

講師:水本 邦彦 氏(京都府立大学・長浜バイオ大学名誉教授) 参加者数:66人

3月25日(土)14時30分～16時 会場:大津市歴史博物館講堂

タイトル:寛文二年近江・若狭地震をめぐる災害対応と復興

講師:東 幸代 氏(滋賀県立大学人間文化学部教授) 参加者数:74人

4月8日(土)14時30分～16時 会場:大津市歴史博物館講堂

タイトル:シン垣をめぐる防災と減災史-比良山麓地域の石文化-

講師:落合 知帆 氏(京都大学地球環境学学術准教授) 参加者数:72人

[企画展関連古文書入門講座]

3月19日(日)、26(日)、4月2日(日)14時30分～16時 会場:大津市歴史博物館講堂

タイトル:江戸時代の大津の災害史料を読む

講師:高橋 大樹(本館学芸員) 参加者数:78人(3/19)、69(3/26)、82(4/2)

9、刊行物 『湖都大津の災害史』 展覧会解説パンフレット(A4版 24頁 入場者に配布)

(配布数3,950部。展覧会後、比良山麓の各自治会や館内での配布を継続)

10. 展覧会の成果と問題点

【内容面】

- 大学共同利用機関法人 人間文化研究機構 総合地球環境学研究所プロジェクト「人口減少時代における気候変動適応としての生態系を活用した防災減災(Eco-DRR)の評価と社会実装」(代表者:吉田丈人)で実施されてきた比良山麓地域の古文書・社会学調査の成果で構成。
- 洪水・土砂災害・高潮などの自然災害への生態系がもつ多様な機能を活用する防災減災の手法(Eco-DRR)による調査・研究を、歴史資料や聞き取りを中心に紹介し、あわせて、

大津市全体の過去（古代～現代）の地震、土砂災害だけでなく、防災に関する人々の取り組みも合わせ資料から読み解いた。

- 具体的には、比良山麓地域の自治会や財産区に残る古文書・古絵図から、地震や洪水の痕跡を読み取り、身近な災害の来歴を理解してもらうように構成した。また、そうした古文書・古地図が、過去の災害を明らかにし、現在の防災や減災活動に密接にかかわる点を伝え、文化財の持つ多様性を紹介することができた。
- 本展に合わせて、本市危機・防災対策課との共同で、1階ロビーで市内各地域のハザードマップを展示し、2階ロビーでは防災グッズ（備蓄品、テントなど）を紹介し、歴史展示と関連させた。

【広報面・集客面】

- アンケートにより、例年の歴史展示・美術史展示とは異なる層の来館者（歴史ではなく災害・防災に関心のある方、地元自治会・防災会関係者）が多く来場したことがわかったが、集客数としては2,400人程度にとどまった。
- チラシについては、通常の関係機関の配布とともに、小松・木戸・和邇学区自治連合会長と協議の上、全戸配布をおこなった。

II、アンケート結果（抄） 全体回答者数 327人

※全体的に高評価。要望・意見のみ抄出

- ・ 古文書が多く専門的で素人には難しかった。
- ・ 写真がもう少し多ければ良かったと思いました。
- ・ 近々に起きるとされる東南海の災害に関して過去安政、昭和21年の時、大津ではどのような災害が発生したのか知りたい。
- ・ 滋賀に土地感がなく古い資料の〇〇村がうまく理解できず残念でした。古い絵、地図の近くに現在のどのあたりかを示す地図があればもう少しわかりやすいかも
- ・ パンフレットを頂きましたが、見る時も、もう少し大きい文字で書いてあればと思いました。
- ・ 滋賀で育った人間ではないので災害以外でも歴史を教えてほしいです。
- ・ 資料が多すぎて、読めない。（時間が必要）
- ・ まわりの人のカメラのシャッター音のみ（連写されている方がいて）気になってしまいました。
- ・ 子どもには、とっつきにくい？退屈してしまう？という気がしました。全体に、古文書や古地図など読む作業(?)が主なので、少し疲れましたが、とても興味深く拝見しました。



明治29年「琵琶湖大洪水」のコーナー



比良山麓と災害・防災のコーナー

【1-2-3】第 90 回企画展「発掘された大津の歴史」

- 1、会 期 令和 5 年（2023）7 月 22 日（土）～9 月 3 日（日） [開館日数 38 日間]
- 2、会 場 大津市歴史博物館 企画展示室 A
- 3、主 催 大津市歴史博物館
- 4、後 援 朝日新聞大津総局、e-radio、NHK 大津放送局、共同通信社大津支局、京都新聞、KBS 京都、産経新聞社、時事通信社大津支局、(株)ZTV 滋賀放送局、中日新聞社、日本経済新聞社大津支局、BBC びわ湖放送、毎日新聞大津支局、読売新聞大津支局
- 5、観覧料 一般 600 円（480 円）・高大生 300 円（240 円）・小中生 200 円（160 円）
※（ ）内は各種割引適用時の料金。
- 6、展示作品 41 コーナー（37 遺跡 871 点）
うち重要文化財 2 件、滋賀県指定文化財 1 件、大津市指定文化財 6 件
- 7、入館者数 2,119 人（うち有料観覧者 1,757 人 無料観覧者 362 人）
◇有料内訳 個人 一般：613 人 高大生：97 人 小中生：225 人
割引 一般：327 人 高大生：49 人 小中生：26 人
市内（65 歳以上）割引：136 人 歴博カード会員：284 人

8、関連講座・イベント等

[れきはく講座] ※定員 100 名(事前申込制)。1 人 500 円(カード会員 250 円)。会場は博物館講堂。

開催日時	講座タイトル	講師名	参加人数
8 月 5 日(土) 14 時～15 時 30 分	大津市の遺跡発掘① 縄文～古墳時代	西中久典、柳原麻子(文化財保護課職員)	103 人
8 月 19 日(土) 14 時～15 時 30 分	大津市の遺跡発掘② 古墳～平安時代	福田敬、山崎公輔、岡田有矢 (文化財保護課職員)	85 人
9 月 2 日(土) 14 時～15 時 30 分	大津市の遺跡発掘③ 鎌倉～江戸時代	西中久典(文化財保護課職員)、 小林裕季(公益財団法人滋賀県文化財保護協会職員)	90 人

[ギャラリートーク] ※事前申込不要(当日の企画展観覧者対象)。会場は企画展示室内。

日時	主なトピック（チラシ等で事前告知）	講師名	参加人数
7 月 25 日(火) 14 時～(30 分程)	穴太野添古墳群や曼陀羅山古墳群の副葬品	福庭万里子(本館学芸員)	8 人
7 月 27 日(木) 14 時～(30 分程)	南滋賀遺跡出土の木製独楽、上仰木遺跡出土の平安～室町時代の出土品	福田敬(文化財保護課職員)	19 人
8 月 10 日(木) 14 時～(30 分程)	穴太遺跡出土の金銅製帯金具、中世坂本の発展を示す出土品	岡田有矢(文化財保護課職員)	9 人
8 月 17 日(木) 14 時～(30 分程)	山ノ神遺跡 4 号窯跡出土の鴟尾、石山国分遺跡森瓦窯出土の藤原宮同范瓦	田中久雄(大津市埋蔵文化財調査センター職員)	34 人
8 月 24 日(木) 14 時～(30 分程)	錦織遺跡（細田古墳）や真野古墳など前・中期古墳の出土品	西中久典(文化財保護課職員)	17 人
8 月 29 日(火) 14 時～(30 分程)	今宿遺跡出土の古代瓦、近江国府跡周辺出土品	山崎公輔(文化財保護課職員)	14 人
8 月 31 日(木) 14 時～(30 分程)	穴太遺跡出土の墨書土器、江戸時代の古式水道	柳原麻子(文化財保護課職員)	10 人

◇講座・イベント参加人数合計：380人（れきはく講座：計278人、ギャラリートーク：計110人）
〔ワークシート〕

展示内容に合わせたオリジナルワークシートを難易度別に2種類作成し、受付にて配布。参加者には記念缶バッジ1種（企画展オリジナル全5種類）をプレゼントした。

◇参加数 ワークシート（むずかしい※小学校高学年以上）……230枚

ワークシート（かんたん ※小学校低学年程度）……231枚

9、刊行物 図録『発掘された大津の歴史』（A4判変型、64頁オールカラー）

製作数：1,500冊（寄贈用500冊を含む）、販売価格：1,000円（一般）・800円（カード会員割引価格）

◇会期中の販売実績：180冊（一般：138冊、会員：42冊）

〔補足〕令和6年2月10～11日に、文化財保護課実施の坂本城跡現地説明会の場内で図録販売をおこなったところ、約2,000人が来場し、2日間の販売実績は『発掘された大津の歴史』263冊、『明智光秀と戦国時代の大津』883冊（令和2年発行、1冊200円）となった。

10、展覧会の成果と課題

【内容面】

- 近年、大津市内では開発にともなう本発掘調査が継続して行われており、主に古代～中世の遺構・遺物の発見が相次ぎ、注目される報道発表も多い。また、大津市埋蔵文化財調査センターでは「大津 むかし・むか～し」として、発掘調査成果速報展示を毎年実施している。しかし、市内の出土品を広く展示する場所、機会が限られている状況にあった。このため、近年の発掘調査成果や大津市内の多様な考古資料をより広く紹介するものとして本展を実施した。
- 本展では、特に過去10年程の発掘調査成果を中心としながら、旧石器時代から江戸時代までにわたる各時代の多様な出土品を展示した。さらに、重要文化財や県・市指定文化財となった大津市の考古資料の名品もあわせて展示し、大津の豊富な考古資料の様相を解説した。
- 展示は、時代を追って遺跡ごとの構成とした。夏休み時期の開催であるため、小・中学生の来館を見込んで、2種類のワークシートを作成・配布したところ親子や大人の参加も多く、好評となった。
- 展示解説は、理解しやすさを重視し、字数を減らして簡潔になるよう作成した。見やすいと好評であった一方、小中学生向けの用語解説や時代の概要など、詳細説明が不十分という指摘もあった。

【広報・集客・販売面】

- チラシ35,000枚・ポスター1,500枚を作成し、通常通り市内施設や関係機関に配布掲示依頼をおこなったほか、市内小学生の全数分のチラシを各学校へ配送した。小中学生の来館増につながったが、大量のチラシ送付は学校側への負担があるため今後の方法について調整が必要である。
- 親子連れの来館が増加したが、一方で無料観覧者数が他の企画展の半数以下となり全体の入場数は伸びなかった。当館では、寄託寄贈者や展覧会協力者、関係各機関などに招待券を配付しており、招待枠での無料観覧が一定数あるが、その層の興味を引くことが難しかったといえる。
- 図録販売数について、企画展会期中38日間で180冊だったのに対して、遺跡現地説明会でイベント的に販売した際には2日間で263冊という実績があった。考古学・埋蔵文化財に興味を持つ層に的確に届けることができれば、来館・販売増につながると考えられ、より効果の高い情報発信方法の検討が必要である。

11、アンケート結果（抄） 全体回答者数 41 人（コメント有 39 人、無 2 人）

◎感想・意見など（基本的に文面のままとし、補足部分には※をつけた）

- ・ 学校近くのことがあって「こういう所があったのか」などが分かったので楽しかったです。（10 代・小学生）
- ・ ワークシートを使って、楽しくみれました。古ふん時代にこまがあったことにおどろきました。むずかしい言葉があったので、用語かい説のパネルがあると小学生でもわかりやすいです。（10 代・小学生）
- ・ それぞれの時代の天津のできごとや遺跡、出土品についてのせつめいがありわかりやすかった。またクイズもあり、たのしかった。（10 代・中学生）
- ・ 鏡と水晶がきれいにならべ方が良かった。銅鐸とこまと土師器も好きだった。ワークシートは問題が楽しいし、解説が詳しくて自由研究に出来そうだった。犬かわいい。※坂本城跡出土遺物のこと、イラスト付き。（10 代・中高生）
- ・ 小学生の子供と来ていたのでよく出土している遺物について用語解説のパネルなどあるとなお良かったと思う（例えば土師器、須恵器、青磁などの違いなど）ワークシートは親子で楽しめた。今後もこのような企画は入れてほしい！（30 代）
- ・ 説明のキャプションが減ったようでスッキリして見やすくなった。ワークシートは、何を理解してほしいのかという点で以前よりも良くなっていると思います。（かんたん、むずかしい両方とも）持って帰ったあとも自分で調べてみようという気にさせるワークシートになってきたかなと思います。（40 代）
- ・ タイトルからおもしろそう！と思って楽しみに来ました。住んでいる近所でこれほどたくさんの出土品がでたというのが当時の生活をリアルに感じられてとても良かったです。土器に貝などで模様がつけられているのが作り手の工夫や心意気がみえるようでした。（40 代）
- ・ 埋蔵文化財について詳しく説明されていたが、展示内容に似通った内容のものが多く、もう少しバリエーションが欲しかった。（60 代）
- ・ 身近な地域に多くの遺跡があることがわかり、歴史をもっと知りたいと思った。60 代
- ・ 自分たちの住む身近な場所から多くの出土品がありそれらの歴史の営みの上に現在があると、改めて知ることが出来てよかった。（60 代）



① ポスタービジュアル

⑤ 古代～白根時代～
 展示 ⑤ 【山ノ持連源氏の戦場】をみてみましょう！
 Q.7 戦場は古代のお寺などで使われました。どこに取り付けられていたのでしょうか？
 答えを○で囲ってください
 ①左側 ②右側 ③屋根 ④壁

⑥ 古代～早稲時代～
 展示 ⑥ 【上印木遺跡の土器】をみてみましょう！
 Q.8 上印木遺跡の土器からは、いくつかの絵が描かれています。なにが描かれているかな？
 大津市立総合博物館 展示1室

⑦ 近世～江戸時代～
 展示 ⑦ 【大津藩寺】をみてみましょう！
 Q.9 大津藩寺から、江戸時代中期から後期にかけて使われていた、生活に必要な設備の跡が見つかりました。その設備とはなんですか？
 A. 

② 展示風景

第90回企画展 発掘された大津の歴史 ワークシート

限定缶バッジプレゼント

展示を見ながらワークシートに挑戦しよう！

むずかしい
 小学生高学年以上向け

かんたん
 小学生低学年以上向け

全問答えると缶バッジがもらえるよ！
 ワークシートを2階企画展示室に見せてください。

第90回企画展 発掘された大津の歴史

ワークシート

☆てんじをみて もんだいに こたえよう！
 ・問題を解くときは、大人の人と一緒に挑戦しましょう。
 ・ワークシートは大人の方からご協力いただけます。

もんだい① どうたつのようを かいて みよう！
 てんじ⑤ けさだすきもん どうたく

もんだい② これは なに かな？
 てんじ⑨ がた はにわ
 てんじ⑬ ミニチュアの
 てんじ⑮ いちばん ふるい？！
 てんじ⑲ がた すずり

うらめん にも もんだい が あるよ ➡

③ ワークシート（左：むずかしい、右：かんたん）



④ 講座・ギャラリートーク風景

【1-2-4】親鸞聖人生誕 800 年記念企画展（第 91 回企画展）「近江堅田 本福寺」

- 1、会 期 令和 5 年（2023）10 月 7 日（土）～11 月 19 日（日） [開館日数 38 日間]
- 2、会 場 大津市歴史博物館 企画展示室 A
- 3、主 催 大津市歴史博物館
- 4、後 援 朝日新聞大津総局、e-radio、NHK 大津放送局、共同通信社大津支局、京都新聞、KBS 京都、産経新聞社、時事通信社大津支局、(株)ZTV 滋賀放送局、中日新聞社、日本経済新聞社大津支局、BBC びわ湖放送、毎日新聞大津支局、読売新聞大津支局
- 5、観覧料 一般 800 円（640 円）、高大生 400 円（320 円）、小中生 200 円（160 円）
※（ ）内は各種割引適用時の料金。
- 6、展示作品 197 件
うち市指定 7 件
- 7、入館者数 2,764 人（うち有料観覧者 1,462 人 無料観覧者 1,302 人）
◇有料内訳 個人 一般：579 人 高大生：67 人 小中生：25 人
割引 一般：316 人 高大生：5 人 小中生：1 人
市内（65 歳以上）割引：172 人 歴博カード会員：297 人

8、関連講座・イベント

[記念講演会]

10 月 14 日（土）14 時～15 時 30 分 会場：大津市歴史博物館講堂

タイトル：本福寺史料が語る戦国の真宗

講師：神田千里氏（東洋大学名誉教授） 参加者数：98 人

11 月 11 日（土）14 時～15 時 30 分 会場：大津市歴史博物館講堂

タイトル：本願寺蓮如と堅田本福寺

講師：岡村喜史氏（本願寺史料研究所上級研究員） 参加者数：82 人

11 月 18 日（土）14 時～15 時 30 分 会場：大津市歴史博物館講堂

タイトル：中世近江の女性と真宗

講師：西口順子氏（相愛大学名誉教授） 参加者数：72 人

[れきはく講座]

10 月 21 日（土）14 時～15 時 30 分 会場：大津市歴史博物館講堂

タイトル：本福寺文書の伝来とその構成

講師：高橋大樹（本館学芸員） 参加者数：90 人

11 月 3 日（金・祝）14 時 30 分～15 時 30 分 会場：大津市歴史博物館講堂

タイトル：本福寺と真宗の美術

講師：柘植健生（本館学芸員） 参加者数：60 人

11 月 4 日（土）14 時 30 分～15 時 30 分 会場：大津市歴史博物館講堂

タイトル：近現代史のなかの親鸞と蓮如

講師：近藤俊太郎氏（本願寺史料研究所研究員） 参加者数：90 人

[展覧会関連ワークショップ]

10 月 8 日（日）10 時～12 時 会場：大津市歴史博物館体験学習室

タイトル：角上さんと大津絵のスタンプで俳画を作ろう

講師：山田真実氏（木版画家、成安造形大学地域実践領域助教）、横谷賢一郎（本館学芸員）

参加者数：7人

〔ギャラリートーク〕企画展内容の概説

10月12日（木）14時～（30分程度） 内容：「本福寺旧記」をひらく 参加者数：16人

10月19日（木）14時～（30分程度） 内容：芭蕉と千那・角上 参加者数：12人

10月26日（木）14時～（30分程度） 内容：足利尊氏と堅田の由緒／角上と信州塩崎康楽寺 参加者数：40人

11月9日（木）14時～（30分程度） 内容：本福寺法物とその美術参加者数：25人

11月16日（木）14時～（30分程度） 内容：戦国時代の堅田と本福寺 参加者数：27人

※ギャラリートークの講師は当館学芸員・当市文化財保護課技師

9、刊行物 図録『近江堅田 本福寺』（A4判変型、96頁オールカラー、販売価格1,400円）

製作数：1,500冊（寄贈用500冊を含む）

販売実績：467冊（令和6年2月末段階）

10、展覧会の成果と課題

【内容面】

- 浄土真宗の祖である親鸞生誕800年という節目に合わせ、大津市域の中で、室町時代以来の歴史をもつ堅田本福寺の寺宝や資料を取り上げ、寺史だけでなく、堅田という地域の通史を紹介する展示構成とした。
- 前半部分は、本福寺をめぐる蓮如、比叡山延暦寺、堅田の都市史、戦国時代の一向一揆など、本福寺絵画・文書だけでなく、堅田地域史料を織り交ぜることで、単なる寺院史料展示ではなく、地域史展とし、通常のキャプションに加え、キャラクターに語らせるかたちのパネルを配置した。
- 後半部分は、江戸時代の本福寺の来歴とともに、膨大な文書・記録を量としてみせるとともに、当該期の住職が松尾芭蕉の弟子（蕉門）であったことから、近江・堅田の俳諧史としても位置付け直した。また通史展示を配慮し、近代以降の堅田の来歴を本福寺文書からたどるよう構成した。
- 本福寺には「本福寺旧記」と呼ばれる一連の中世記録があり、これまで寺外不出史料であったものを、今回特別に展示するご許可を得ることができた。これら記録は、真宗史でも希有な史料として近代以降、歴史学研究の上で大いに注目されてきた史料であり、また中世堅田の基礎資料としても欠かせない古文書である。そうした貴重な記録類を可視的にみせるため、そのうち「本福寺跡書」の全丁画像を壁面に展示して、その情報を伝える試みをおこなった。
- 展示内容に関して、毎週スライドトークを開催した。また、小学生高学年程度に合わせた内容でクイズ形式のワークシートを作成したところ大人にも好評であった。

【広報面・集客・販売面】

- 来場者の評価は高いもので、「本福寺旧記」が展示されるということもあり、歴史学研究者などの関東方面からの来場があったが、集客数は2,700人程度にとどまった。「本福寺」という名前を「近江堅田」と共に出したものであったが、こういった寺院であるかなど、本テーマに興味を持つ層以外へ企画展開催情報をうまく届けられていなかった点は反省点であり、今後の広報のあり方を検討する必要がある。
- なお、チラシについては、通常の関係機関の配布とともに、堅田学区自治連合会長と協議の上、全戸組回覧をおこなった。

11、アンケート結果（抄）

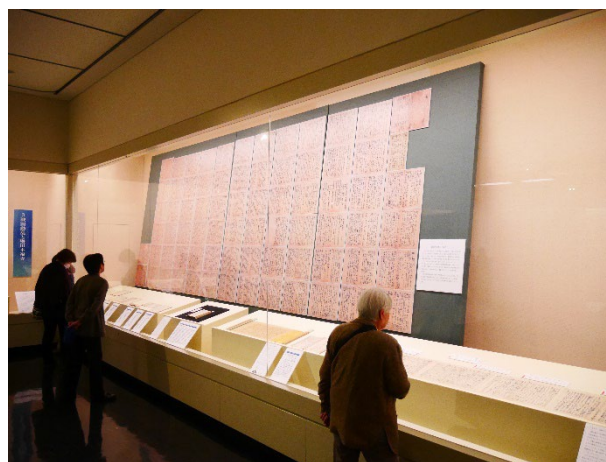
〔展示テーマに関する感想・要望〕

- ・ 本福寺の豊富な資料を見ることができて近江の真宗の歴史がよくわかった。少し文献が多くて読むのに疲れた。

- ・内容が豊富で満足しております。でも予習が必要かと思いました。各展示物の一言コメントはすごく良いと思います。他館では見たことがありません。なおさら予習が必要で再度来館します。
- ・大津歴博の展示なのだろうから見応えはあると予想してはいましたが予想をはるかに超えました。
- ・説明文と展示物との勘合が解りづらくストレスを感じる展示形態です。今後改良を望みたいです。
- ・本福寺の展示を目当てに来ました。たくさんの文書を解説文と共に見られてとてもおもしろかったです。パンフレットも充実していて、わかりやすかったです。堅田や浄土真宗について勉強になりました。多くの貴重な品物を展示して下さいありがとうございます。
- ・本福寺は1度複数人で訪れたことがあったが、その時は、信者の団体にのみ史料を公開しているとの返答だった。今回、本福寺のありとあらゆる史資料を一堂に鑑賞でき、大変満足です。親鸞上人絵伝を間近で観察できたのも大変有難かったです。



室町時代の本福寺と法宝物



「本福寺旧記」(中世記録)



ワークシート



ワークシート参加賞バッチ

【1-2-5】企画展「写真展 50年前の琵琶湖・堅田―大西艸人がみた自然と営み―」

- 1、会 期 令和5年(2023)10月7日(土)～11月19日(日) [開館日数38日間]
- 2、会 場 大津市歴史博物館 企画展示室B
- 3、主 催 大津市歴史博物館
- 4、後 援 朝日新聞大津総局、e-radio、共同通信社大津支局、京都新聞、KBS京都、産経新聞社、時事通信社大津支局、(株)ZTV滋賀放送局、中日新聞社、日本経済新聞社大津支局、BBCびわ湖放送、毎日新聞大津支局、読売新聞大津支局
- 5、観覧料 一般330円(260円)・高大生240円(190円)・小中生160円(130円)
※常設展示観覧料を適用。()内は各種割引適用時の料金。
- 6、展示作品 写真74点 インタビューパネル11点
- 7、入館者数 4,047人(うち有料観覧者2,205人 無料観覧者1,842人)
※会期中の常設展示観覧者数
- 8、関連講座
[スライドトーク] 企画展内容の概説 講師：木津勝(本館副館長)
10月18日(水)14時～(60分程度) 参加者数：9人
11月8日(水)14時～(60分程度) 参加者数：11人
- 9、刊行物 「写真展 50年前の琵琶湖・堅田」パンフレット(A4判、16頁カラー、観覧者に配布)
製作数：5,000冊

10、展覧会の成果と課題

【内容面】

- 秋季企画展「近江堅田 本福寺」展にあわせ、同展と現代の堅田をつなげる架け橋になる展覧会となるよう企画した展覧会である。内容は、昭和40年代の堅田の風景を展示する写真展として、過去に写真集を出版されている大西艸人氏の写真展示を行なった。
- 50年前の写真であることをふまえ、現在の風景との違いを際立たせることを目的に、成安造形大学の石川亮准教授の協力を得て、写真の解説や地元の方の当時の思い出、現在の町に対する思いをインタビュー形式でまとめ、パネル化して写真の合間に織り込んだ。
- インタビューは展示した写真とともに16頁のパンフレットに仕上げて、観覧者に配布した。
- 写真を鑑賞することで、よみがえった思い出や感想を記述するメモを用意し、観覧者に記載をお願いした。集まった感想は、展示室出口に掲示して共有できるようにした。

【集客面】

- 集客は約4000人弱にとどまったが、地元堅田の人々を中心に、風景や生活の変化の違いについて驚く声が多く聞かれた。※アンケート参照

【反省点と今後の課題】

- 撮影者と展示方法について議論を重ねる中で、展示方法を解説主体とするのではなく、文字を極力排して、写真自体を鑑賞できる環境づくりを心がけ、博物館としての表現をインタビューパネルや導入部に展示した博物館資料やパネルの展示に託す構成とした。これまでの写真展とは異なる空間構成にすることができたものの、語り合える空間づくりに課題が残った。
- 展示終了後、写真パネルは博物館に収蔵している。また展覧会終了後、大西氏から新たな写真の寄贈の打診を受けている。今後はこうした資産を活用し、博物館以外での展示や写真を通じた町

の歴史の共有に活用していきたい。

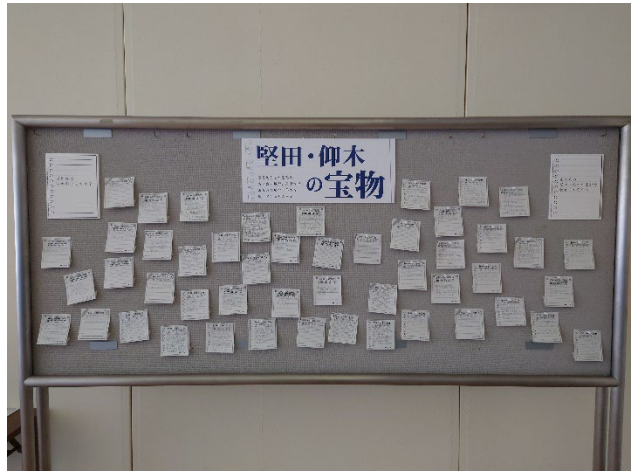
II、アンケート結果（抄）

◎自由記入欄より印象的な意見（一部略・抜粋あり）

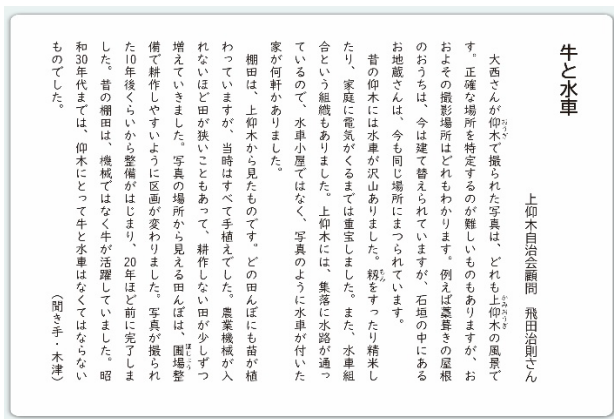
- ・ 前回訪問したときは、本福寺展のみで、堅田についての興味が増したので、今回は写真展とスライドトークに来ました。展示も良かったですし、スライドトークはさらにウラ話などお聞きできて本当に良かったです。展示でのインタビュー掲示もありがたく、トークのとき「10年前であれば解説不要だったことが、今回は必要となってしまった」とのお話を聞き、時代が移っているのだなと改めて認識しました。堅田へは駅を下りてバスに乗ることしかしていませんが、今回頂いたパンフレットを持って町めぐりをしてみたいと思いました。2つの堅田に関する展覧会、本当にありがとうございました。(50代)



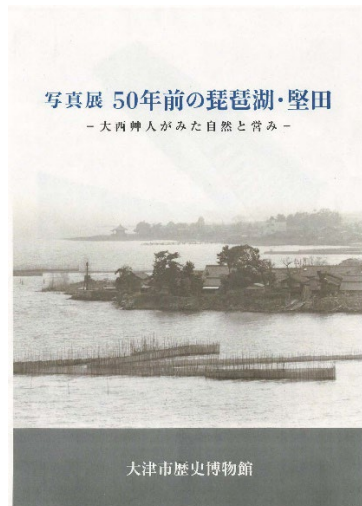
① 展示風景



② 思い出メモ「堅田・仰木の宝物」



③ インタビューパネル



④ パンフレット（16ページ）

【1-2-6】 れきはく講座の実施状況（令和5年4月～令和6年3月）

	開催日	曜日	回数	シリーズ名など	タイトル	講師	応募者数	当選者	参加者
1	4月2日	日	850	企画展「湖都大津の災害史」古文書入門講座	江戸時代の大津の災害史料を読む③	高橋大樹（本館学芸員）	109	109	82
2	4月8日	土	851	企画展「湖都大津の災害史」関連	シン垣をめぐる防災と減災—比良山麓地域の石文化—	落合知帆（京都大学地球環境学准教授）	116	100	72
3	4月12日	水	852	企画展「湖都大津の災害史」関連	【現地見学会】 百間堤とその山麓地域をめぐる	高橋大樹（本館学芸員）	88	40	22
4	5月4日	木・祝	853	「大津絵れきはく蔵出し展」ワークショップ	大津絵スタンプで蔵書票を作ろう！	山口美央（大阪商大、成文堂1701ハナ子地域実践教育研究員）	21	18	16
5	5月6日	土	854	大津絵ワークショップ	ステーションで大津絵を描いてみよう！	本館職員、横谷賢一郎（本館学芸員）	14	10	10
6	5月21日	日	855	ミニ企画展「大津絵れきはく蔵出し展」関連講座	鬼念仏とはいかなるキャラクターなのか？	横谷賢一郎（本館学芸員）	80	80	63
7	7月14日	金	856	ユネスコ「世界の記憶」登録記念ミニ企画展「三井寺の唐時代のバスボート」関連	「円珍の遺所」スライドトーク	寺島典人（本館学芸員）	申込不要	申込不要	48
8	7月25日	火	—	企画展「発掘された大津の歴史」関連	ギョラリートーク（1回目）	福庭万里子（本館学芸員）	申込不要	申込不要	8
9	7月26日	水	857	大河ドラマ「どうする家康」関連講座	比叡山の復興と天海僧正	中川仁喜氏（大正大学准教授）	117	117	86
10	7月27日	木	—	企画展「発掘された大津の歴史」関連	ギョラリートーク（2回目）	福田敬（本市文化財保護課職員）	申込不要	申込不要	19
11	7月30日	日	858	—	中世天台僧の学問と談義—比叡山・三井寺・関東の談義所めぐって—	渡辺麻里子氏（大正大学教授）	107	107	74
12	8月5日	土	859	企画展「発掘された大津の歴史」関連講座	大津市の遺跡発掘① 縄文～古墳時代	西中久典、柳原麻子（本市文化財保護課職員）	132	132	103
13	8月10日	木	—	企画展「発掘された大津の歴史」関連	ギョラリートーク（3回目）	岡田有矢（本市文化財保護課職員）	申込不要	申込不要	9
14	8月11日	金・祝	860	大河ドラマ「どうする家康」関連講座	徳川家康と大津の寺院	五十嵐正也（本館学芸員）	169	120	92
15	8月17日	木	—	企画展「発掘された大津の歴史」関連	ギョラリートーク（4回目）	田中久雄（本市埋蔵文化財調査センター職員）	申込不要	申込不要	34
16	8月19日	土	861	企画展「発掘された大津の歴史」関連講座	大津市の遺跡発掘② 古墳～平安時代	福田敬、山崎公輔、岡田有矢（本市文化財保護課職員）	145	120	85
17	8月22日	火	862	れきはくワークショップ	マイ兜を作ろう！（午前の部）	本館職員	34	20	17
18	8月22日	火	863	れきはくワークショップ	マイ兜を作ろう！（午後の部）	本館職員	19	16	13
19	8月23日	水	864	れきはくワークショップ	マイ兜を作ろう！（午前の部）	本館職員	23	16	13
20	8月23日	水	865	れきはくワークショップ	マイ兜を作ろう！（午後の部）	本館職員	23	17	10
21	8月24日	木	—	企画展「発掘された大津の歴史」関連	ギョラリートーク（5回目）	西中久典（本市文化財保護課職員）	申込不要	申込不要	17
22	8月29日	火	—	企画展「発掘された大津の歴史」関連	ギョラリートーク（6回目）	山崎公輔（本市文化財保護課職員）	申込不要	申込不要	14
23	8月31日	木	—	企画展「発掘された大津の歴史」関連	ギョラリートーク（7回目）	柳原麻子（本市文化財保護課職員）	申込不要	申込不要	10
24	9月2日	土	866	企画展「発掘された大津の歴史」関連講座	大津市の遺跡発掘③ 鎌倉～江戸時代	西中久典（本市文化財保護課職員） 小林裕季氏（公益財団法人滋賀県文化財保護協会）	146	120	90
25	10月8日	日	867	企画展「近江堅田 本福寺」ミニ企画展「蔵仲寺の花鳥俳諧摺物」関連ワークショップ	角上さんと大津絵のスタンプで俳画を作ろう	山田真実（木板画家、成安造形大学地域実践領域 助教）	6	6	7
26	10月12日	木	—	企画展「近江堅田 本福寺」関連	ギョラリートーク（1回目）	高橋大樹（本館学芸員）	申込不要	申込不要	16
27	10月14日	土	868	企画展「近江堅田 本福寺」記念講演会	本福寺史料が語る戦国の真宗	神田千里（東洋大学名誉教授）	116	116	98
28	10月18日	水	869	スライドトーク	スライドトーク企画展「写真展50年前の琵琶湖・堅田」	木津勝（本館副館長・学芸員）	申込不要	申込不要	9
29	10月19日	木	—	企画展「近江堅田 本福寺」関連	ギョラリートーク（2回目）	横谷賢一郎（本館学芸員）	申込不要	申込不要	12
30	10月21日	土	870	企画展「近江堅田 本福寺」関連講座	本福寺文書の伝来とその構成	高橋大樹（本館学芸員）	118	118	90
32	10月26日	木	—	企画展「近江堅田 本福寺」関連	ギョラリートーク（3回目）	高橋大樹（本館学芸員） 本館職員（本市文化財保護課職員） 本館職員（本市文化財保護課職員） 本館職員（本市文化財保護課職員）	申込不要	申込不要	40
31	11月1日	水	871	スライドトーク	スライドトーク ミニ企画展「旗本庄田家と比良」	五十嵐正也（本館学芸員）	申込不要	申込不要	14
33	11月3日	金・祝	872	企画展「近江堅田 本福寺」関連講座	本福寺と真宗の美術	柘植健生（本館学芸員）	92	92	60
34	11月4日	土	873	企画展「近江堅田 本福寺」関連講座	近現代史のなかの親鸞と蓮如	近藤健太郎（本願寺史料研究所研究員）	119	119	90
35	11月8日	水	874	スライドトーク	スライドトーク企画展「写真展50年前の琵琶湖・堅田」	木津勝（本館副館長・学芸員）	申込不要	申込不要	11
36	11月9日	木	—	企画展「近江堅田 本福寺」関連	ギョラリートーク（4回目）	柘植健生（本館学芸員）	申込不要	申込不要	25
37	11月11日	土	875	企画展「近江堅田 本福寺」記念講演会	本願寺蓮如と堅田本福寺	岡村喜史（本願寺史料研究所上級研究員）	139	120	82
38	11月16日	木	—	企画展「近江堅田 本福寺」関連	ギョラリートーク（5回目）	五十嵐正也（本館学芸員）	申込不要	申込不要	27

39	11月18日	土	876	企画展「近江堅田 本福寺」記念講演会	中世近江の女性と真宗一絵系図に見る女性と子どもー	西口順子（相愛大学名誉教授）	102	102	72
40	11月22日	水	877		大津と芸能のゆかりを学ぼうー常磐津を中心にー	常磐津子寿太夫・菊与志郎	64	64	43
41	12月3日	木	878	大津絵ワークショップ	マイ大津絵カレンダーをつくろう	日本大津絵文化協会	37	20	16
42	2月8日	木	879	日本フエノロサ学会共同開催講座	源氏物語と大津	村山 保史氏（大谷大学教授）	101	101	74
43	2月23日	金・祝	880	特集展示「源氏物語と大津」記念講演会		岩坪 健氏（同志社大学教授）	322	140	114
44	3月1日	金	881	日本フエノロサ学会共同開催講座	富田幸次郎と日本	楠 しづゑ氏（東京女子大学非常勤講師）	81	81	52
45	3月2日	土	882	大津市・京都橘大学「大津市内中世遺跡詳細シウム（文化財保護課共催）」	琵琶湖湖西地域の中世ー宇佐山城・坂本城とその周辺ー	南健太郎氏（京都橘大学准教授）、岡田有矢（本市文化財保護課職員）、五十嵐正也（本館学芸員）	195	120	101
46	3月6日	水	883	叡山学院共同開催 特別公演	第12回 叡山学院 聲明公演	叡山学院修学生	93	30	19
47	3月9日	土	ー	古文書リレー講座①（追加・午前の部）	江戸時代の古文書を読むー地域史料から『源氏物語』関連史料までー	高橋大樹（本館学芸員）		70	46
48	3月9日	土	884	古文書リレー講座①	江戸時代の古文書を読むー地域史料から『源氏物語』関連史料までー	高橋大樹（本館学芸員）	189	119	87
49	3月10日	日	885	大津絵ワークショップ	大津絵でオシャレなブチ掛軸づくり	ミヤケマイ氏（美術家）、横谷賢一郎（本館学芸員）	45	18	15
50	3月16日	土	ー	古文書リレー講座②（追加・午前の部）	戦国・織豊期の古文書を読むー大津に関わった武将たちー	五十嵐正也（本館学芸員）		96	71
51	3月16日	土	886	古文書リレー講座②	戦国・織豊期の古文書を読むー大津に関わった武将たちー	五十嵐正也（本館学芸員）	216	120	93
52	3月20日	水	887	れきはくワークショップ	「オリジナル花押を作ろう」（午前の部）	本館学芸員	30	30	23
53	3月20日	水	888	れきはくワークショップ	「オリジナル花押を作ろう」（午後の部）	本館学芸員	24	24	8
54	3月23日	土	ー	古文書リレー講座③（追加・午前の部）	鎌倉・室町期の古文書を読むー中世の大津を生きた人々ー	吹上竜司（本市文化財保護課職員）		60	35
55	3月23日	土	889	古文書リレー講座③	鎌倉・室町期の古文書を読むー中世の大津を生きた人々ー	吹上竜司（本市文化財保護課職員）	180	120	85
56	3月31日	日	890	特集展示「源氏物語と大津」関連	講談「紫式部と月と源氏物語」・特集展示スライドトーク	講師 旭堂南風氏、本館学芸員	139	120	61
計							3,751	3,148	2,603

対前年度 回数18回増、人数527人増

〔参考〕2022年4月～2023年3月は38回

参加者は2,076人

【1-2-8】講座以外の普及活動

【成安造形大学共同企画 夏休みおもちゃづくりワークショップ2023】

歴史博物館では、平成14年（2002年）から毎年、小学校の夏休み時期に合わせて、「夏休みおもちゃづくりワークショップ」を開催している。これは、成安造形大学の協力を得た連携事業で、美術領域を専門とする大学生とともに、歴史文化をテーマとした子ども向けワークショップをおこなうものである。大学生は大学のプログラム授業として参加し、ワークショップ内容の考案、準備、当日の指導などを担当する。これまでに約600人の学生が参加してきた。本事業は、市内の小学生が親子で博物館を訪れるきっかけのひとつとなっており、令和4年度までに約7,200人以上（延べ人数）の子どもたちが参加した。

令和5年度は、令和4年度と同様に対面でのワークショップを行なった。新型コロナウイルス感染症対策の観点から、1回あたりの参加者数を減らし、代わりに回数を増やして、総参加者数が維持できるようにした。令和元年度以前に行っていた、子どもたちが作った完成品の展示は行わなかった。

1. ワークショップ概要

期 間 令和5年8月5日（土）～8月10日（木）〔うち4日間〕

参加申込者 のべ 574人 （令和4年度 参加申込者のべ 925人）各回定員 20人

開催日		おもちゃ名	申込	参加者
8月5日（土）	am	①ぐるぐる！からくり水車くん	33	17
	pm		38	19
	am	②はじいて！遺跡ピンボール	69	18
	pm		60	18
8月6日（日）	am	①ぐるぐる！からくり水車くん	36	17
	pm		27	21
	am	③GOGO！パンツショットガン	14	8
	pm		21	10
8月9日（水）	am	②はじいて！遺跡ピンボール	88	18
	pm		68	21
	am	④戦え！おおつもう	19	7
	pm		8	5
8月10日（木）	am	③GOGO！パンツショットガン	37	18
	pm		30	17
	am	④戦え！おおつもう	17	6
	pm		9	2
合計			574	222

- ①ぐるぐる！からくり水車くん（紙パックでつくるまわるしかけのおもちゃ）
- ②はじいて！遺跡ピンボール（ダンボールを自由自在に組み立てて宝物を探そう）
- ③GOGO！パンツショットガン（輪ゴムでパンツを飛ばして敵をたおそう！）
- ④戦え！おおつもう（オリジナル大津絵人形でトントンずもうのガチバトル！）

3. 事業の概要と結果

- ・ 今年度は、夏季企画展「発掘された大津の歴史」や常設展に関連した歴史や文化をテーマにしたおもちゃ4種を学生たちが考案した。年度初めに、博物館から学生たちへ事業の概要と企画展・常設展示の趣旨についてレクチャーした上で、資料提供を行い、学生たちがそれぞれの専門分野を活かしながら模索したことから、バラエティ豊かなおもちゃを取り揃えることができた。
- ・ 実際に制作する前に、学生たちが子どもたちの前でおもちゃのテーマに沿った導入映像や紙芝居、人形劇を上演した。各班ともバラエティ豊かな内容であり、おもちゃづくりの導入として子どもたちの興味関心を引き、各テーマの趣旨を伝えることができていた。
- ・ 例年どおり、当館ホームページとツイッター、広報おおつへの掲載、大津市内の小学校全児童へのチラシ配布等で告知した。
- ・ おもちゃの種類によって、申込みが極端に偏る結果となったが、いずれのおもちゃも子どもたちに好評であった。
- ・ 8月10日の申込者が極端に多い結果となったが、これはお盆休みの初日にあたる家庭が多かったことが影響していると考えられる。
- ・ ワークショップ終了後に常設展示を観覧する親子連れが多く、常設展示への一定の集客効果があった。



①ぐるぐる！からくり水車くん



②はじいて！遺跡ピンボール



③GOGO！パンツショットガン



④戦え！おおつもう

【ワークショップ『2023 夏 マイ兜(かぶと)を作ろう!』】

夏休み期間、戦国時代をテーマに、主に子どもたちを対象としたワークショップを開催した。

当館ホームページでは、すでに「ペーパークラフト 兜(かぶと)を作ってみよう!」として型紙等を公開(2020年8月)しているが、今回は簡単に作れるようにリニューアルし、小さい子どもたちにも作れるように工夫してうえで実施した。

日 時：2023年8月22日(火) AM 10時～11時30分(参加人数：17名)

8月22日(火) PM 13時30分～15時(参加人数：13名)

8月23日(水) AM 10時～11時30分(参加人数：13名)

8月23日(水) PM 13時30分～15時(参加人数：10名)

参加費：1名につき300円

対 象：主に小学生(※大人の方の参加も可)

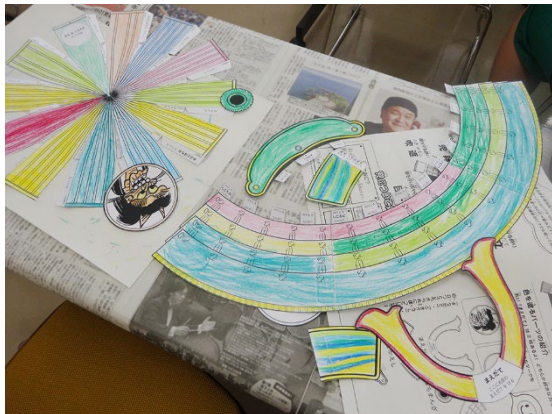
定 員：各回20名

場 所：大津市歴史博物館 1階 講座室

講 師：当館職員3名、博物館実習生20名

(結果)

- ・ 全4回合計69名、小学生以下の子どもから大人まで幅広い参加を得た。
- ・ ワークショップは大学学芸員課程の博物館実習期間中の実施とし、実習生が指導員として参加したことで、参加者ひとりひとりに対し個別指導ができるとともに、子どもたちを大学生の交流を図ることができた。



【大津絵キャラクター総選挙】

令和5年4月18日（火）～6月4日（日）を会期としたミニ企画展「大津絵―れきはく蔵出し展 2023」の開催に合わせ、「大津絵キャラクター総選挙」と題し、収蔵品の大津絵の人気投票を行った。

エントランスホールに選挙ポスター風の掲示板を設置し、キャラクターの顔写真には自己紹介風のコメントを付けた。来館者はシールを貼って投票し、1人3票まで「推しキャラクター」に投じることが出来るようにした。結果、総数2,044票の投票があった。上位の結果は下記の通り。

- | | |
|-----------------------|------|
| 1位：鬼念仏（18世紀前半の2枚継ぎ版） | 175票 |
| 2位：鷹匠の鷹（19世紀前半の2枚継ぎ版） | 170票 |
| 3位：鬼念仏（20世紀の木版摺蔵書票） | 147票 |

当館では6月末まで投票結果を掲示して発表した。また、InstagramとX（旧ツイッター）で当館の公式アカウントをフォローし、当館の受付にそれを示した人を対象に、1位の鬼念仏のマグネットを記念品として進呈した。



【ミュージアムグッズ制作・販売方法】

歴史博物館では、これまで館蔵品に関する絵葉書や一筆箋、クリアファイルなどを製作しており、売り切れた場合のグッズの追加製作のほか、新たなグッズの開発・製作を行っている。

令和5年度は、①アクリルキーホルダー（大津絵 猫とねずみ）、②コットンバッグ（大津絵 鬼念仏）を製作し、販売した。①は、令和4年度に製作・販売した鬼念仏のアクリルキーホルダーに続くもので、②のコットンバッグは大津絵関連グッズとして製作したもの。



①アクリルキーホルダー（大津絵 猫とねずみ）
1個 500円



②コットンバッグ（大津絵 鬼念仏）
1点 600円

・ガチャガチャ缶バッジの導入（令和6年2月末段階で3種を作成）

令和5年10月1日より、販売中の展覧会図録等について、一部値下げを行った。

（1）刊行後30年以上経過したもの 一律300円（カード会員価格250円）

（2）刊行後10年以上、30年未満経過したもの

①定価1,501円以上のもの 1000円（カード会員800円）

②定価1,001円以上のもの 500円（カード会員450円）

③定価1,000円以下のもの 300円（カード会員250円）

（※詳細について、ミュージアムショップやホームページでお知らせ）

【1-2-8】小中学校等による博物館利用状況（令和4年4月～令和5年2月）

【市内所在の小中学校による常設展示観覧】

来館日	学校名（学年）	児童・生徒数	引率	備考
11月2日(木)	青山中学校	11名	なし	校外学習(班活動)
11月2日(木)	打出中学校	173名	5名	校外学習(班活動)
11月2日(木)	日吉中学校	37名	2名	校外学習(班活動)
11月7日(火)	北大路中学校（1年生）	22名	1名	校外学習(班活動) 解説・インタビュー対応
1月18日(木)	石山中学校	3名	1名	
1月19日(金)	青山中学校	3名	1名	
1月19日(金)	田上中学校	9名	4名	
1月19日(金)	打出中学校	17名	4名	

合計 293 人（児童・生徒数 275 人、引率 18 人）

大津市歴史博物館条例（平成2年、条例第1号）第7条及び大津市歴史博物館の管理運営に関する規則（令和4年、規則第23号）第17条に基づき、市内所在の小中学校児童・生徒が教育課程で観覧する場合は減免対応。

【小学校等への出張授業対応】

市内小学校からの依頼に応じて、随時学芸員による出張授業を実施。小学校6年生の総合学習、小学校3年生社会科「昔の暮らし」や「市のうつりかわり」に関する内容が中心。

実施日	学校名（学年）	児童・生徒数	備考
7月4日(火)	晴嵐小学校（6年生）	5クラス	晴嵐の歴史
12月19日（火）	大石小学校（3年生）	2クラス	昔の暮らし（昔の道具解説）
1月19日(金)	平野小学校（3年生）	5クラス	市の移り変わり
1月23日(火)	晴嵐小学校（3年生）	5クラス	昔の暮らし（昔の道具解説）
1月31日(水)	青山小学校（3年生）	5クラス	昔の暮らし・市の移り変わり
2月9日(金)	志賀小学校（3年生）	5クラス	市の移り変わり

（参考）令和4年度：7校（出張授業5校、資料貸出1校、データ提供1校）

【職場体験】

市内中学校1年生が毎年実施している職場体験について、各校からの依頼に応じて随時受け入れている。令和2年度以降は、新型コロナウイルスの影響により事業自体が中止となっていたが、今年度より再開された。体験内容は、館内案内の後、受付業務の体験や、学芸員の指導により資料整理作業の体験など。

実施期間	学校名（学年）	参加数	備考
10月25～27、31日（4日間）	皇子山中学校（1年生）	3名	
11月1～2、7日（3日間）	唐崎中学校（1年生）	3名	
11月7～9日（3日間）	打出中学校（1年生）	3名	前半・後半に分けて2グループを受入。
11月14～16日（3日間）		3名	
11月21～22日（2日間）	粟津中学校（1年生）	2名	
11月29日～12月1日（3日間）	日吉中学校（1年生）	3名	
11月29日～12月1日（3日間）	北大路中学校（1年生）	2名	
12月5～7日（3日間）	志賀中学校（1年生）	3名	

【その他の学校対応（通常の展示観覧目的以外のもの）】

- 滋賀県立大津商業高校から2年生歴史総合科目の授業への協力依頼があり、社会科教員と協議、授業内容について助言し、資料データなどを提供。4月18日・21日5～6限に生徒が来館（18日113名、21日152名）し、学芸員による各30分程の講義と展示見学を実施。
- 滋賀県立大津商業高校のキャリア形成授業の一環で、職場インタビューの対応。学芸員の仕事ややりがいなどについて。2月1～2日来館（2班8名）
- 大津市内の小・中学校社会科教員の令和5年度初任者研修の対応。1月30日・2月1日 合計62名

【1-2-9】情報発信(広報・SNS)の状況

1. プレスリリース(広報課を通じた記者発表)

発表日	件名
令和5年 4月4日	ミニ企画展「大津絵 れきはく蔵出し展 2023「特集：青面金剛・鬼念仏」」の開催
5月26日	ミニ企画展「大津の文化財調査中！-未指定文化財調査速報展示-」の開催
7月4日	ミニ企画展「三井寺の唐時代のパスポート」の開催
7月15日	企画展「発掘された大津の歴史」の開催
8月1日	ミニ企画展「ゆかいな絵はがき-暑中見舞い-」の開催
9月8日	ミニ企画展「義仲寺の花鳥俳諧摺物 村田東蒼と中島来章」の開催
9月29日	歴史博物館所蔵の大津絵をLINEスタンプとして販売
9月29日	企画展「近江堅田 本福寺」「写真展 50年前の琵琶湖・堅田-大西艸人がみた自然と営み-」の開催
10月12日	ミニ企画展「旗本庄田家と比良」の開催
11月27日	歴史博物館オリジナル「大津絵コットンエコバッグ」の発売
12月26日	特集展示「源氏物語」の開催

2. マスメディア等取材対応件数(令和6年度)

取材内容	件数
展示関係	43
ミニ企画展「大津絵 れきはく蔵出し展 2023」	1
ミニ企画展「三井寺の唐時代のパスポート」	5
ミニ企画展「大津の文化財調査中！」	2
ミニ企画展「ゆかいな絵はがき-暑中見舞い-」	6
企画展「発掘された大津の歴史」	12
企画展「近江堅田 本福寺」「写真展 50年前の琵琶湖・堅田」	4
特集展示「源氏物語と大津」	13
その他(大津事件、坂本城、大津絵、パンプキン爆弾等)	17
計	60

※取材を受けた時点でカウントしたもの。掲載に至らなかった取材を含む。

3. ホームページ・SNS等の公開状況

◆ホームページ更新について [アドレス：<https://www.rekihaku.otsu.shiga.jp/>]

企画展、特別展示の詳細や主な展示作品については、各トピックについてnews 頁を作成して情報を公開し、ホームページ更新のお知らせや学芸員視点での資料紹介についてX(旧 Twitter)を活用している。また、貸しギャラリーやその他の開館情報については、ホームページ・X(旧 Twitter) 双方で告知するようにしている。

◆オリジナル壁紙の公開・配付

2021 年 1 月から当館ホームページで公開している。年単位でテーマを変えており、2021 年は大津絵、2022 年は歌川広重作品、2023 年は花押、2024 年は源氏物語である。パソコンやタブレット、スマートフォン向けとして各 4 種を用意している。また、壁紙にはカレンダーをつけたものもある。壁紙に用いられたモチーフへの理解を深めるため、壁紙のページに簡単な説明をつけている。

◆大津市歴史博物館公式 Twitter の更新状況

[アカウント名：otsu_rekihaku URL：[www.twitter.com/otsu_rekihaku](https://twitter.com/otsu_rekihaku)]

運用方針 URL：<https://www.city.otsu.lg.jp/shisei/koho/sns/t/1519801599531.html>

2024 年 2 月末日時点で総ツイート数 1,431、フォロワー数 2,839 (2023 年 3 月時点 2,427)

◆大津市歴史博物館公式 Instagram の更新状況

[アカウント名：otsu_rekihaku URL：www.instagram.com/otsu_rekihaku/]

運用方針 URL：<https://www.city.otsu.lg.jp/shisei/koho/sns/t/46614.html>

2024 年 2 月末日時点で総投稿数 380、フォロワー 448 (2023 年 3 月時点 247)

【1-3-1】講師・調査派遣等の状況（令和5年度）

1 講師派遣

5月28日	大津まちなか大学大津祭学部「大津百町の歴史」	NP0 法人大津祭曳山連盟
6月4日	百間堤見学会	比良比叡トレイル協議会
6月18日	本福寺地域文化講座「堅田歴史探求（古地図で堅田の景観を読み解く）」	浄土真宗本願寺派 夕陽山本福寺
6月21日	市民大学たかしまアカデミー第9回講座 「近江湖西地域の災害と防災史」	高島市教育委員会
6月25日	膳所公民館講座「膳所藩士羽太家の史料と伝来」	膳所公民館
7月4日	晴嵐歴史探検	大津市立晴嵐小学校
7月8日	水害対策を考える防災研修「江戸～明治時代の和邇川流域の災害と防災」	和邇学区自治連合会
7月16日	令和5年度特別展「旅する大津絵展ーかわいい！ たのしい！江戸庶民の人氣みやげー」講演会	那珂川町馬頭広重美術館
7月16日	熱心まちづくり出前講座「若葉台の歴史」	若葉台自治会
8月19日	親子ふれあい大津絵体験教室	大津市市民部文化振興課
9月27日	きらッと大津景観広告賞・古都大津20周年記念賞 大学生ワークショップ	大津市都市計画部都市計画課
9月30日	第29回いざよいシンポジウム 「千那と角上 堅田の芭蕉のお弟子さん」	堅田湖族の郷実行委員会
10月24日	大津まちなか大学歴まちガイド学部 第4回講座 「源氏物語と大津」	大津百町エリア部会
10月28日	防災学習会「比叡山麓の災害史をたどる」	新大宮川を美しくする会
10月29日	第13回景観まちづくりフォーラム	公益社団法人日本建築家協会
11月9日	地域人材育成事業（けやき教養塾）「琵琶湖水運 と堅田」	大津市立仰木の里公民館
11月14日 15日、17日	大津市新規採用職員研修「大津の歴史」	大津市人事課
11月21日	堅田の芭蕉門人 千那と角上	堅田歴史同好会
12月16日	幻の大津城を訪ねて…「塞王の楯」の舞台を歩く	トヨタモビリティ滋賀
12月18日	近江学研究会研究報告 「大津市歴史博物館写真資料の整理と活用」	成安造形大学附属近江学研究所
1月7日	おうみ発630「しがばな」公開収録×大河ドラマ 「光る君へ」初回放送パブリックビューイング	NHK大津放送局
1月26日	滋賀県レイカディア大学 楽しく豊かに生きるための 基礎講座「病魔退散と大津絵」	滋賀県レイカディア大学
1月30日	大津まちなか大学歴まちガイド学部 第4回講座 「大津百町案内の極意」	大津百町エリア部会
1月30日	小中学校新規採用教員初任者研修	大津市教育センター
2月1日	「歴史博物館の活用と大津の歴史」	
2月4日	ここ滋賀「源氏物語と大津」	びわ湖大津観光協会
2月10日	草津歴史発見塾「広重の視点 名所から風景へ」	草津宿街道交流館
2月24日	大津歴史まちづくりフォーラム「大津宿の歴史」	大津市・公益社団法人滋賀県建築士会 大津地区委員会（博物館共催事業）
2月25日	第46回滋賀県医学検査学会特別講演「発掘された	滋賀県臨床検査技師会

大津の歴史」

3 月 2 日	田上福祉大会講演「源氏物語と大津」	田上学区社会福祉協議会
---------	-------------------	-------------

2 調査派遣

9 月 25 日	仏像調査（～9 月 28 日）	柳井市教育委員会・山口市教育委員会
1 月 30 日	「奈良・大和路のみほとけ—令和古寺巡礼—」作品調査（～2 月 1 日）	株式会社 TNC プロジェクト・山口県立美術館・MIHO MUSEUM・山梨県立博物館

3 委員等

- ・ 滋賀県博物館協議会 理事、研修委員、広報委員（滋賀県博物館協議会）
- ・ 大津市歴史的風致向上協議会 委員（大津市都市魅力づくり推進課）
- ・ 大津市大河ドラマ「光る君へ」活用推進協議会 会員（大津市観光振興課）
- ・ 「大津百町百福物語」ブランド選考委員会 委員（大津商工会議所）
- ・ きらッと大津景観広告賞・古都大津 20 周年記念賞 選考委員
- ・ 大学共同利用機関法人 人間文化研究機構 総合地球環境研究所 共同研究員
- ・ 成安造形大学附属近江学研究所 客員研究員
- ・ 豊郷町史編さん執筆委員（美術工芸）
- ・ 清水寺史編纂委員会 委員
- ・ 総本山知恩院史料編纂所 編纂員
- ・ 『園城寺の仏像』編纂委員（天台寺門宗総本山園城寺）
- ・ 堺市博物館共同研究「中世堺における歴史文化に関する学際的研究会」特別委員
- ・ 独立行政法人国立文化財機構京都国立博物館 収蔵品修復業者選定委員（絵画）
- ・ 収蔵品価格評価委員（滋賀県立陶芸の森陶芸館）

【1-3-2】収蔵資料の貸出し状況・特別利用の状況（令和5年度）

○那珂川町馬頭広重美術館

令和五年度特別展「旅する大津絵展－かわいい！たのしい！江戸庶民の人気みやげ－」

会期：令和5年7月8日～8月20日

・丸清板東海道五十三次のうち五十四 大津 歌川広重画 江戸時代 1枚 本館蔵

○安城市歴史博物館

特別展「安城譜代2 三河本多一族」

会期：令和5年9月16日～10月29日

・金子家由緒書 江戸時代 1巻 個人蔵（本館寄託）

○彦根城博物館

特別展「大名と菓子－百菓繚乱－」

会期：令和5年10月7日～11月6日

・上菓子屋仲間条目帳 江戸時代 1冊 個人蔵（本館寄託）

○龍谷ミュージアム

2023年度博物館実習十二月展「天つ星 天体と人のつながり」

会期：令和5年11月29日～12月2日

・藤慶板近江八景 石山秋月 歌川広重画 江戸時代 1枚 本館蔵

・石山秋月蒔絵小文庫 江戸時代 1口 本館蔵

・瀬田焼釘彫茶碗 江戸時代 1客 本館蔵

○博物館資料の特別利用 54件（令和6年2月17日現在）

【1-3-3】貸しギャラリーの利用状況（令和5年4月～令和6年2月）

	展示期間	展覧会名	主催	観覧者数	展示室
1	4/28～4/30	滋賀県書作家協会展	滋賀県書作家協会	639	A
2	4/28～4/30	第36回全国シルバー書道展滋賀展	公益社団法人日本書芸院	639	B
3	5/2～5/7	2023CAF.Nびわこ展	CAF.Nびわこ展実行委員会	333	A・B
4	5/9～5/14	第68回滋賀県美術協会展	滋賀県美術協会	987	A・B
5	5/17～5/21	第27回滋賀水彩展	滋賀水彩画会	529	A
6	5/16～5/21	第35回美術サークル4.0展	美術サークル4.0	579	A
7	5/23～5/28	第11回しがの風展	しがの風	612	A・B
8	6/1～6/4	花寿会水墨画合同作品展	花寿会	250	B
9	6/16～6/22	第73回大津市美術展覧会	大津市文化振興課	1,413	A・B
10	6/24～6/30	第46回大津市写真展覧会	大津市文化振興課	927	A・B
11	9/1～9/3	福田元子マイカイキルト教室作品展	マイカイキルト	368	B
12	9/14～9/18	第43回滋賀県書道展	滋賀県書道協会	557	A・B
13	9/20～9/24	第23回錦織美術倶楽部作品展	錦織美術倶楽部	490	B
14	9/22～9/24	第16回玄風書道展	玄風書道会	505	A
15	11/28～12/3	令和5年度現代大津絵展	日本大津絵文化協会	435	B
16	12/6～12/10	第5回大津写真連盟合同写真展覧会	大津写真連盟	335	B
17	12/8～12/10	大津市立幼稚園こども展	大津市役所幼保支援課	2,196	A
18	12/15～12/17	大津市保育園こども園園児作品展	大津市保育協議会	1,318	A
19	1/6～1/8	雅友書展	疋田惜陰	428	A・B
20	1/12～1/16	大津市小・中学校児童生徒書き初め展	大津市教育委員会	2,375	A・B
21	1/18～1/24	大津絵特別支援学級・養護学校作品展	大津市教育委員会	2,615	A・B
22	1/26～1/30	大津の子ども総合美術展	大津市教育委員会	2,374	A・B
23	2/1～2/4	「石の欧羅巴から吾が故郷滋賀の水へ」 日本水彩画会会員推挙記念展	那須善之	237	B
24	2/10～2/12	第63回滋賀県書き初め展	公益社団法人滋賀県書道協会	7,584	A・B

合計 令和5年度 24回 総観覧者数 28,725 人

対前年度 2,113 増

※2月13日以降は3月末まで、LED化工事のため貸しギャラリーを停止

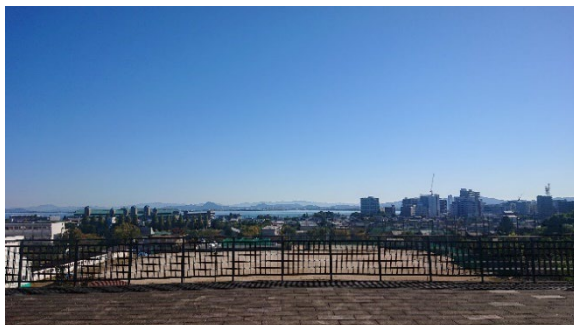
参考	令和4年度	25回	総観覧者数	26,612 人
	令和3年度	27回	総観覧者数	24,112 人
	令和2年度	16回	総観覧者数	16,645 人
	令和元年(平成31年)度	29回	総観覧者数	34,824 人
	平成30年度	32回	総観覧者数	35,095 人
	平成29年度	40回	総観覧者数	43,225 人
	平成28年度	37回	総観覧者数	38,828 人
	平成27年度	37回	総観覧者数	42,591 人

【1-3-4】施設の活用（キッチンカー・ロビー展示等）

◇秋季企画展でのれきはくマルシェ開催について

当館は館内飲食禁止だが、博物館施設の利活用のために、秋の展覧会にあわせて正面玄関テラス前で、キッチンカー販売を実施し、テラスで飲食出来るスペースを提供した。

- 1 期間 令和5年10月12日（木）から11月17日（金）までのうち 計12日間
- 2 場所 歴史博物館正面玄関テラス前の軽自動車2台程度のスペース
- 3 事業者数 8事業者（キッチンカー6店舗、物販2店舗）
- 4 利用人数 のべ220名（事業者報告）
(内訳) 平日 124名/9日間（1日平均16名）
土日祝 96名/3日間（1日平均32名）
- 5 評価と今後の展開について
 - ・ 歴史博物館周辺は飲食可能な場所が限られ案内できる場所が少ないため、多数の来館者が訪れる企画展期間中の事業として一定の需要に応えることができた。また、公共施設の有効活用としても、一定の効果があったと考えられる。
 - ・ 事業者及び博物館がSNS等で広報を行い、広く情報発信をすることができた。
 - ・ ゴミや飲食物の持ち込みなどに関しては、事業者の協力もあり、問題なく終えることができた。また、館内への飲食物持ち込みに関するトラブルもなかった。
 - ・ 今年度の秋季企画展は、堅田を取り上げた展覧会であり、地元堅田の事業者が集まる出店日を1日設けた。
 - ・ 昨年度と同様に、気候が良く、多数の来館者が見込まれる秋季企画展にあわせて事業実験を実施した。事業者数及び利用者数は前年度より減少という結果になった。
 - ・ 今後は、来館者の需要等を考慮しながら開催を検討する。



玄関前のテラス（歴博 TERRACE と命名）



キッチンカー

◇ロビーの活用

無料エリアであるロビーは、貸しギャラリー観覧者も気軽に観覧できるため、歴史にあまり関心がない層にも歴史や博物館活動に興味を持ってもらうスペースとして格好の場所である。本年度は、7月～8月、1月にNHK 大津放送局の協力のもと、大河ドラマ出演者パネル及び関連情報パネルの展示を行った。

また、1月には、びわ湖大津観光協会の主催で、特集展示「源氏物語と大津」にあわせて、人形師東之湖（とうこ）氏が作成した雛人形による展示「雛でめぐる近江八景」を行った。

大河ドラマパネル展「どうする家康」

会期 令和5年7月1日(土)から8月31日(木)まで

内容 大河ドラマ「どうする家康」の出演者やドラマに関する人物相関図や解説のパネル展示

主催 NHK 大津放送局、大津市歴史博物館

大河ドラマパネル展「光る君へ」

会期 令和6年1月16日(火)から1月28日(日)まで

内容 大河ドラマ「光る君へ」の出演者やドラマに関する人物相関図や解説のパネル展示

主催 NHK 大津放送局、大津市歴史博物館



「雛でめぐる近江八景」展

会期 令和6年1月10日(水)から1月28日(日)まで

内容 東近江市在住の人形師 東之湖（とうこ）氏が制作した、近江八景など滋賀をテーマとした『清湖雛（せいこびな）』の展示。

主催 公益社団法人びわ湖大津観光協会、一般社団法人東近江市観光協会



〔参考Ⅰ〕 大津市歴史博物館の概要

Ⅰ. 博物館の概要

- ・開館日：平成2年10月28日
- ・博物館法の分類：登録博物館（平成8年度より重要文化財公開承認施設）
- ・博物館の運営方針：当館は、大津の豊かな歴史と文化を調査研究し、その成果を常設展示や企画展をはじめとする様々な事業のなかで紹介し、地域への理解と愛着を深めていただくことを目的に博物館活動を重ねています。

2. 主な活動

① 展示活動

a. 常設展示「大津の歴史と文化」

南北に細長い地理的特質を持ち、各地域ごとに異なった歴史と文化を形成するという大津市の特徴から、地域に焦点を当てた6つのコーナーからなる「テーマ展示」と、大津市全域の歴史を年代順にたどる「歴史年表展示」によって構成しています。

また、平成11年度から常設展示内の1コーナーを「ミニ企画展」と名づけ、博物館の収蔵品や調査成果を踏まえて、2ヶ月程度を会期に年間7～8回、様々なテーマの小展示を行っています。

b. 企画展示

当館には企画展示室A（約500㎡）と企画展示室B（約250㎡）があります。これらの展示室で年間3回程度の企画展を実施しています。

② 資料の調査収集、研究活動

市内を中心に、大津に関係する資料の調査を日常の博物館活動として実施しています。またこうした活動の中で資料の収集を行い、博物館収蔵品の充実と文化財の保護を行うとともに、レファレンス対応の基礎資料としています。こうした活動は開館以来継続して行ってきましたが、令和3年度からは未指定文化財調査事業として様々な目的を設定し、より積極的に取り組んでいます。

③ 普及活動

a. れきはく講座

開館当初より「土曜講座」や現地見学会「ふるさと大津歴史教室」を実施してきましたが、現在は「れきはく講座」という名称に統一し、年間30回程度の講座を開催しています。

b. 夏休み子どもワークショップ

平成14年度から、成安造形大学と共同で実施しています。

c. れきはくカード

1年間有効の定期券で、常設展示、企画展示を観覧いただけるほか、れきはく講座や刊行物の割引等を受けられます。会員数428名（令和6年2月末現在）。

④ その他

a. 貸館（企画展示室の利用）

当館が企画展示室を使用していない期間に限り、同室をギャラリーとして利用できるようにしています。大津市美術展覧会や市内小中学校の絵画・書道の展示など、市民の芸術活動の発表の場としてご利用いただいています。

3. ここ5年間の主な活動

①利用者数の推移

(人)

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
常設展示観覧者数	21,408	19,661	20,667	16,019	18,282
企画展観覧者数	22,504	14,833	11,633	10,298	10,593
講座等参加者数	2,906	3,968	630	1,500	2,320
貸館観覧者数	35,095	34,824	16,645	24,112	26,819
館外展示観覧者数	313	—	—	—	—
総利用者数	82,416	73,286	49,575	51,929	58,014

②企画展の開催状況

- 平成29年度 「田上てぬぐいー暮らしと文化ー」
《大津京遷都1350年記念》 企画展「大津の都と白鳳寺院」
本多氏入封400年記念企画展「膳所城と藩政ー築城から幕末十一烈士事件までー」
- 平成30年度 大津市制120周年記念企画展「60年前の大津」
湖信会設立60周年記念企画展「神仏のかたちー湖都大津の仏像と神像ー」
「フェノロサの愛した寺 法明院ー三井寺北院の名刹ー」
- 令和元年度 「大津南部の仏像ー旧栗太郡の神仏ー」
「大津絵ーヨーロッパの視点からー」
重要文化財「大津百艘船関係資料」指定記念「江戸時代の琵琶湖水運」
- 令和2年度 特集展示「明智光秀と戦国時代の大津」
重要文化財指定記念特別展示「金台院蔵「天台三祖師像」と天台の祖師」
開館30周年記念企画展「聖衆来迎寺と盛安寺ー明智光秀ゆかりの下阪本の社寺ー」
開館30周年記念企画展「芭蕉翁絵詞伝と義仲寺」
- 令和3年度 「大津のどうぶつ博物館」
聖徳太子1400年御遠忌・伝教大師1200年御遠忌記念企画展
「西教寺ー大津の天台真盛宗の至宝ー」
山元春拳生誕150年記念企画展「蘆花浅水荘と山元春拳画塾」
- 令和4年度 伝教大師最澄没後1200年記念企画展「仏像をなおす」
壬申の乱1350年記念企画展「大友皇子と壬申の乱」
総合地球環境学研究所共催展「湖都大津の災害史」

③企画展示室利用件数の推移

平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
33件	34件 (うち4件中止)	13件	27件	25件

〔参考２〕大津市歴史博物館の基本的運営方針について

■「大津市歴史博物館基本的運営方針」策定の経過

大津市歴史博物館は平成２年１０月に開館しました。以来、資料調査及び常設展示・企画展示・れきはく講座・ホームページ等による歴史情報の発信等、さまざまな事業に取り組んできましたが、この間、博物館をとりまく社会状況の変化のなかで、あらためて今、博物館の存在意義が問われています。

そういった状況のもと、平成２３年１２月２０日付で、文部科学省より「博物館の設置及び運営上の望ましい基準」が告示されました。同告示においては、博物館の設置目的を踏まえた基本的運営方針、年度ごとの事業計画の策定に努めることとされ、また、利用者及び地域住民、社会の要望への留意、学校、他の博物館等との緊密な連携、協力を努めるものとする等が提示されました。

それに基づき、大津市歴史博物館では、あらためて平成２６年度から、「基本的運営方針」の原案作成に着手しました。原案作成にあたっては、附属機関である大津市歴史博物館協議会に原案を諮問し、２年間に渡る討議を経て、同協議会から出された答申をもとに、このたび「大津市歴史博物館が目指すもの」「大津市の歴史と文化の魅力とは」「基本的運営方針と活動目標」からなる基本的運営方針の原案を作成しました。この原案について、平成２９年２月１７日から３月８日の間に実施したパブリックコメント、大津市教育委員会定例会における議決を経て、策定いたしました。

なお、この基本的運営方針については、「大津市教育振興基本計画」の策定年度である平成３２年度から５年ごとを目途に、必要に応じて見直すこととしています。

■大津市歴史博物館の基本的運営方針（平成２９年３月２３日策定）

Ⅰ、大津市歴史博物館が目指すもの

・豊かな歴史と文化をともに学び、ともに未来へ引き継ぐ

歴史博物館は、大津市の豊かな歴史と文化の素晴らしさを、そこに暮らす人々とともに学ぶことによって、郷土への愛着と誇りを育むとともに、多様でかつ地域性豊かな郷土の魅力を発信し、その担い手を育て、さらに未来へと引き継いでいきます。そして、人と人、人とモノとの出会いによって生みだされる学びの楽しさを、子どもたちをはじめとする幅広い世代の人々とともに分かち合える場となるような博物館を目指します。それとともに、誰もが暮らしてよかった、訪れてよかったと思えるような大津市のまちづくりにも寄与することを、歴史博物館の使命とします。

Ⅱ、大津市の歴史と文化の魅力とは

（Ⅰ）琵琶湖と緑の山々の豊かな自然の恵みによって育まれた歴史と文化

大津市は、魅力にあふれた都市です。日本一広い琵琶湖が、目の前に広がっています。背後は、緑の山々に囲まれています。その豊かな自然の恵みにより、先人たちは、大津市ならではの歴史と文化を育んできました。大津京、渡来文化を示す遺跡、仏教文化の聖地、水陸交通の要所、大

津絵と近江八景、明治以降の近代化など。その魅力は多様で、またこれから、さらなる調査によって、新たな魅力が発見されていくことでしょう。

(2) 個性あふれる地域によって生み出された多様な歴史と文化

大津市は、明治31年（1898）の市制施行以来、度重なる合併により、市域が南北に細長いという地理的な特徴を持っています。山村部、湖辺や農村、また門前町・宿場町・港町・城下町といった都市部など、それらの多様な特徴を持つ地域に暮らす人々の営みによって、大津市には、個性豊かな歴史と文化が育まれてきました。

(3) 数多くの国宝・重要文化財が残される一方、未指定の埋もれた文化財が人知れず眠る、未知の可能性を秘めた歴史と文化

世界遺産を擁する大津市には、国宝・重要文化財といった国指定文化財が、京都市・奈良市に次いで3番目と、数多く残されています。また、未指定で、地域の人々によって守られてきた文化財も豊富です。それでもまだ、人知れず埋もれている文化財が、多く眠っています。大津市の歴史と文化は、未知の可能性を秘めた魅力にあふれています。

(4) 日本の各地域へ、さらに世界へと広がる歴史と文化

歴史をさかのぼると、中国大陆や朝鮮半島からの渡来文化、インドで発祥し、シルクロードを通じて我が国に伝えられた仏教、延暦寺・園城寺・西教寺・石山寺や日吉大社など日本の神仏信仰の中心的な位置にある多くの社寺、さらに、東西交通の要所といえる琵琶湖水運や東海道、北国海道、峠越えの道などの陸上交通。大津市の歴史と文化は、全国、さらに世界へと、無限の広がりを持っています。

3、基本的運営方針・活動目標

基本的運営方針 Ⅰ

地域に埋もれた歴史と文化をともに調べ、ともに守る

大津市の歴史と文化の魅力でも触れたように、国指定文化財の豊かさとともに、市内の各地域には、地域性を持つ未指定の文化財が人知れず眠っています。また、日本の各地に、歴史的なつながりを示す文化財も数多く残されています。それらの文化財を守ってこられた地域の人々とともに調査し、その保存、活用について考えます。

◇活動目標(Ⅰ) 資料の調査収集・研究活動の推進

市内、市外を問わず、本市の歴史と文化の特徴に関わる資料を積極的に調査収集し研究する。調査に際しては、資料所蔵者（個人・団体を含む）への取材により、資料の伝来状況を記録し、資料の持つ歴史的意義について明らかにする。

(具体的事業案)

- ① **継続的な資料調査の実施** 調査対象資料は、絵画・彫刻・工芸・歴史・古文書・民俗・考古の各分野とする。また、分野を超えた複合的な調査・収集を、適宜実施することにより、資料に対する新たな価値を見出す。
- ② **他機関等専門家との合同による資料調査** 文化庁、関係研究機関（大学・博物館など）との合同調査を積極的に実施し、資料の歴史的な意義を明らかにする。

- ③ **資料調査成果の発表と共有化** 資料調査の成果を『大津市歴史博物館研究紀要』等の学術雑誌や研究会において発表することにより、大津市の豊かな歴史と文化の共有化を図る。

◇活動目標(2) 調査によって得られた情報のデータ化と収蔵資料の充実

調査収集した資料の整理と目録化を行うとともに、当館で導入している「歴史博物館収蔵品データベース」に蓄積し、今後の活用可能な基礎データとする。

(具体的事業案)

- ① **調査資料の詳細なデータ化** 調査資料の整理にあたっては、調査で得られたあらゆる情報（聞き取り調査も含め）を「収蔵品データベース」等に蓄積し、資料がもつ情報を含めて次代に引き継ぐ。
- ② **収蔵資料の充実** 購入・受贈・受託などの方法による博物館収蔵資料の充実につとめ、展示、レファレンス等への活用を図る。
- ③ **収蔵資料保存に向けた施設の充実** 定期的な資料の燻蒸により、保存環境を良好に保つとともに、空調機器など設備の維持管理、改修につとめる。また、資料の収蔵スペースの確保についても検討する。

◇活動目標(3) 地域資料の保存、活用に向けた情報の共有化と学習支援の推進

資料調査の成果を所蔵者に還元し、資料保存に関する情報の共有化を進める。また資料をもとにした地域学習の要望に対して博物館も積極的に参加し、その活用方法などについて、ともに考える。

(具体的事業案)

- ① **資料保存についての情報の共有化** 博物館と地域で資料の保存環境に関する情報を共有化し、資料の劣化や散逸を防ぐ。
- ② **資料を活用した共同学習の推進** 資料を素材とした地域学習の要望に対し、博物館も積極的に参加し、その活用方法について、ともに考え、資料に盛り込まれた地域の特性についての共同学習を進める。

基本的運営方針 2

あらゆる世代、あらゆる地域に対し、歴史情報の共有化に向けた情報発信を行う

調査によって収集した、大津市の歴史と文化の魅力を、未来を担う子どもや若者をはじめとするあらゆる世代、市内外を含めたあらゆる地域の人々に伝え、そして歴史と文化の新たな担い手を育てるために、その共有化に向けた情報を発信していきます。また発信にあたっては、幅広いテーマによる企画展示の開催、歴史博物館や地域での体験も含めた講座の開催、蓄積したデータのインターネット等を通じた積極的な公開などを、親しみやすさに焦点を当てながら実施していきます。

◇活動目標(1) 常設展示の充実

資料の調査、研究によって得られた新たな情報を常設展示によって紹介し、常に新鮮な情報

を発信する。また、利用者のニーズを把握し、展示内容に反映させるとともに、将来の改修に向けた準備を行う。

(具体的事業案)

- ① **ミニ企画展・特別公開などの充実** 大津絵・近江八景など、大津市ならではの歴史と文化の魅力を示す資料を、ミニ企画展において定期的に公開していくとともに、資料調査によって得られた新発見資料のタイムリーな公開につとめる。
- ② **展示解説シートの作成と活用** 常設展示の内容や大津の歴史に関する理解をより深めるための解説シートを作成するとともに、事前学習にも利用できるように、ホームページ等で公開し、利用の促進を図る。また海外からの観光客誘致に向けて、多言語版解説シートを作成する。
- ③ **展示解説の充実** 現在運用中の音声ガイドの内容充実に加え、観覧者の展示内容に対する理解を深める様々な解説方法を模索する。
- ④ **常設展示の見直し** 観覧者アンケート等により、満足度・リピーター率等を把握するほか、意見の集約により、展示内容の充実を図るとともに、今後の展示改装に向けた基礎資料として活用する。

◇活動目標(2) 企画展示の充実

企画展示のテーマとして、国指定などを始めとする一級の文化財の鑑賞機会を提供するとともに、個性あふれる地域の魅力に焦点を当てた企画展、タイムリーなテーマによる企画展を開催し、大津市の歴史と文化の素晴らしさを広く発信する。

(具体的事業案)

- ① **指定文化財の公開** 日頃、目にすることの少ない指定文化財(国・県・市指定)の鑑賞機会を来館者に提供する。
- ② **資料調査の成果を盛り込んだ企画展の開催** 大津市の歴史と文化の特徴として挙げた、個性あふれる地域の魅力等を重視したテーマによる企画展を開催する。
- ③ **企画展示開催方法の検討** 企画展開催にあたっては、展示内容への理解を深めるため、れきはく講座と連動させるなど、多様な試みを模索する。また他の博物館や文化施設等と連携し、幅広い視点で地域の魅力を明らかにする。
- ④ **親しみやすい企画展** 利用者のニーズに応じたテーマでの企画を検討する。また、解説などについても分かりやすさ、親しみやすさを念頭においた工夫と見直しを常に行う。

◇活動目標(3) 子ども・若者に対する学習支援の推進

子ども・若者を、大津市の歴史と文化の魅力を未来へ引き継ぐ担い手として育てていくため、各年代層に応じた、学習に関する支援を積極的に進めていく。

(具体的事業案)

- ① **小中学生来館に対する学習支援** 学校団体観覧をはじめ、来館する児童・生徒に向けた、常設展示解説シート、ワークシートを新たに作成し、歴史と文化の普及を図るとともに、受入れの促進を図る。
- ② **小中学校への出張授業** 主に、小学校3年生の学習分野「昔の道具、昔の暮らしを学ぶ」、

6年生の社会科歴史分野に対応した出張授業を実施するとともに、学校現場での授業支援に向けた副教材を作成する。

- ③ **親子で学ぶ歴史講座の開催** 大津市全体や地域の歴史、また博物館資料や施設及び活動に関する講座を、体験型に力点を置きながら実施する。
- ④ **子ども・若者に対する多様な学習支援** 子ども・若者に対し、館内や地域での資料調査など、学芸員の仕事を体験してもらうとともに、自発的な郷土学習に対する支援を行うことで、文化財の保存や伝承に対する意識の普及を図る。

◇活動目標(4) 幅広い世代に向けた積極的な情報発信

博物館が持っている資料や情報を、れきはく講座やホームページ等を通じて積極的に発信することにより、市民等の生涯学習に対するニーズに応える。

(具体的事業案)

- ① **れきはく講座の開催** 現在、毎週土曜日を基本として開催している、博物館講堂での講座と年4回程度の現地見学会を、今後も継続実施するとともに、参加者のニーズを把握し、講座内容の充実を図る。
- ② **公民館講座等への講師派遣** 地域の公民館、市民の歴史サークル、各種団体などで開催される講座に講師を派遣し、大津市の歴史と文化の普及を図る。
- ③ **れきはくホームページの充実** 博物館の案内や展示の紹介以外に、大津の歴史と文化を示す資料のデータを高精細画像によって提供し、歴史博物館を訪れることなく、自宅でも、より詳細な資料の検索を可能とする。
- ④ **報道機関への情報提供** 企画展、ミニ企画展を始め、調査による新発見資料等を随時記者発表し、博物館活動の内容を幅広く広報する。

基本的運営方針 3

大津市の歴史と文化の普及に携わるさまざまな組織の活動と連携し、支援体制を築き、歴史情報のセンターとしての役割を担う

「大津市総合計画」「教育振興基本計画」に基づき、大津市の歴史と文化の魅力をさらに広く発信するために、学校教育、社会教育の諸活動、都市計画、観光に関わる諸事業、市民ボランティアやまちづくりを目指す大学や各種団体、企業、歴史的に関係の深い文化施設および自治体などと連携し、博物館事業を進めます。そして、大津市の魅力を、人々が共有し、暮らしに活かせるような歴史と文化のあらゆる情報に応えるセンターとしての役割を担います。

◇活動目標(1) 大津市各部局および市内大学、各種団体、文化施設等との連携

大津市の各部局および市内大学、各種団体、文化施設等との連携を図りながら、本市の歴史情報発信の核としての役割を果たす。

(具体的事業案)

- ① **大津市教育委員会、市長部局各課との連携** 文化財保護課、生涯学習課、市立図書館、都市計画や観光等の諸計画と連携を図り、本市行政における大津の歴史と文化推進事業

の核としての役割を果たす。

- ② **市内大学、文化施設等との連携** 平成14年度から開催している成安造形大学との連携による「夏休み子どもワークショップ」、同24年から実施している県立びわ湖ホールでのラ・フォル・ジュルネ事業との連携等により、大津の歴史と文化の魅力を、市民等と共有する取り組みを行う。

◇活動目標(2) 歴史と文化情報のセンターとしての役割を担う

歴史博物館で調査収集した資料を幅広く提供するとともに、博物館展示室を広くギャラリーとして活用し、歴史と文化の普及に関するセンターとしての役割を担う。

(具体的事業案)

- ① **他の博物館等展覧会に係る収蔵資料の貸し出し** 他の博物館、各種団体等が開催する展覧会に対し、博物館所蔵資料等の貸し出しを行うことで、本市の歴史と文化普及の核としての役割を果たす。
- ② **博物館資料の幅広い活用** 博物館所蔵資料等を、地域の文化活動や福祉活動、書籍の出版や個人の調査、研究などに幅広く提供し、その活用を推進する。
- ③ **レファレンス対応** 市民や報道機関などから、メール、電話、手紙、来館などによる問い合わせへの対応。
- ④ **企画展示室の活用** 企画展示室を大津市美術展や教育委員会主催事業の会場として提供するほか、広く市民ギャラリーとしても貸し出し、文化的活動への活用を図る。

平成2年3月22日

条例第1号

(令和4年4月1日施行)

(設置)

第1条 博物館法(昭和26年法律第285号)第18条の規定に基づき、本市に歴史博物館(以下「博物館」という。)を設置する。

(名称及び位置)

第2条 博物館の名称及び位置は、次のとおりとする。

名称 大津市歴史博物館

位置 大津市御陵町2番2号

(事業)

第3条 博物館は、次の各号に掲げる事業を行う。

- (1) 歴史、考古、民俗、美術工芸等に関する資料(以下「博物館資料」という。)を収集し、保管し、調査研究し、展示し、及び利用に供すること。
- (2) 博物館資料に関する案内書、解説書、目録、図録、年報、調査研究の報告書等を作成し、及び頒布すること。
- (3) 博物館資料に関する講演会、講習会、研究会、見学会等を開催すること。
- (4) 博物館資料の展示のほか、美術等に関する展覧会の場として企画展示室を利用に供すること。
- (5) その他博物館の目的を達成するために必要な事業

(観覧料)

第4条 博物館の常設展示又は特別展示を観覧しようとする者は、観覧料を納付しなければならない。

2 常設展示の観覧料は、別表第1に定めるとおりとする。

3 特別展示の観覧料は、その都度市長が定める。

4 市長は、博物館の観覧について、前売券その他の特別観覧券を発行することができる。

5 前項の特別観覧券の料金は、その都度市長が定める。

(博物館資料の特別利用)

第5条 博物館資料の熟覧、模写、模造、撮影、写真原板の使用等をしようとする者は、市長に申請し、その許可を受けなければならない。

2 博物館資料の撮影又は写真原板の使用の許可を受けた者は、別表第2に定める使用料を使用の許可の際に納付しなければならない。

(企画展示室の使用許可等)

第6条 博物館の企画展示室を使用しようとする者は、市長に申請し、その許可を受けなければならない。

2 博物館の企画展示室の使用の許可を受けた者は、別表第3に定める使用料を使用の許可の際に納付しなければならない。

(観覧料及び使用料の減免)

第7条 市長は、特に必要があると認めるときは、観覧料及び使用料を減額し、又は免除することができる。

(観覧料及び使用料の返還)

第8条 既納の観覧料及び使用料は、返還しない。ただし、市長が特別の理由があると認めたときは、その全部又は一部を返還することができる。

(歴史博物館協議会)

第9条 博物館法第20条第1項の規定に基づき、博物館に大津市歴史博物館協議会(以下「協議会」という。)を置く。

- 2 協議会の委員の定数は、20 人以内とする。
- 3 委員は、次に掲げる者のうちから、市長が委嘱する。
 - (1) 学校教育及び社会教育の関係者
 - (2) 家庭教育の向上に資する活動を行う者
 - (3) 学識経験を有する者
 - (4) 市長が行う委員の公募に応募した市民
- 4 前項第 4 号の規定にかかわらず、公募を実施しても応募者がなかったとき、又は適任者がなかったときは、同号に掲げる者のうちから委員を委嘱しないことができる。
- 5 協議会の委員の任期は、2 年とする。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。
- 6 委員は、再任されることができる。

(委任)

第 10 条 この条例に定めるもののほか、博物館の管理運営等について必要な事項は、規則で定める。

別表第 1(第 4 条関係)

区分	観覧料(1 人 1 回につき)	
	個人利用	団体利用(15 人以上)
小学生・中学生	160 円	130 円
高校生・大学生	240 円	190 円
一般	330 円	260 円

備考

- 1 この表中「一般」とは、小学校に就学するまでの者、小学生、中学生、高校生及び大学生以外の者をいう。
- 2 小学校に就学するまでの者は、無料とする。
- 3 市内に住所を有する者で、65 歳以上のものは、この表の一般の項に定める額の 5 割に相当する額(その額に 10 円未満の端数があるときは、その端数を切り捨てた額)とする。
- 4 次の各号のいずれかに該当する者は、この表の規定にかかわらず、無料とする。
 - (1) 市内に住所を有する者で、身体障害者福祉法(昭和 24 年法律第 283 号)第 15 条に規定する身体障害者手帳の交付を受けているもの
 - (2) 市内に住所を有する者で、滋賀県知事から知的障害者の療育手帳の交付を受けているもの
 - (3) 市内に住所を有する者で、精神保健及び精神障害者福祉に関する法律(昭和 25 年法律第 123 号)第 45 条に規定する精神障害者保健福祉手帳の交付を受けているもの
 - (4) 市内に住所を有する者で、介護保険法(平成 9 年法律第 123 号)第 19 条第 1 項に規定する要介護認定又は同条第 2 項に規定する要支援認定を受けているもの
 - (5) 前各号に規定する者を介護する者(前各号に規定する者 1 人につき 1 人に限る。)

別表第 2(第 5 条関係)

(平 17 条例 25・追加、平 25 条例 81・平 31 条例 21・一部改正)

区分	使用料
ビデオ撮影	1 点 1 回につき 6,600 円
写真撮影	1 点 1 回につき 3,300 円
写真原板の使用	写真原板 1 枚 1 回につき 2,200 円

別表第3(第6条関係)

(平25条例81・全改・一部改正、平31条例21・一部改正)

室名	使用時間	使用料	
		市民	市民以外の者
企画展示室 A	午前9時から午後5時まで	32,130 円	48,190 円
企画展示室 B		15,310 円	22,960 円

備考 使用者が入場料その他これに類する料金(以下「入場料等」という。)を徴収する場合の使用料は、この表による使用料の額に次に定める割合に相当する額(その額に10円未満の端数があるときは、その端数を切り捨てた額)を加算した額とする。

- (1) 入場料等のうち最高額のものが1,000円以下の場合 3割
- (2) 入場料等のうち最高額のものが1,000円を超える場合 5割

○大津市歴史博物館の管理運営に関する規則

令和4年4月1日

規則第23号

(令和4年4月1日施行)

(趣旨)

第1条 この規則は、大津市歴史博物館条例(平成2年条例第1号。以下「条例」という。)第10条の規定に基づき、大津市歴史博物館(以下「博物館」という。)の管理運営について必要な事項を定めるものとする。

(休館日)

第2条 博物館の休館日は、次のとおりとする。

(1) 月曜日(国民の祝日に関する法律(昭和23年法律第178号)に規定する休日(以下「休日」という。)である場合を除く。)

(2) 休日の翌日(日曜日、土曜日又は休日である場合を除く。)

(3) 12月27日から翌年1月5日まで

2 前項の規定にかかわらず、市長は、特に必要があると認めるときは、休館日を変更し、又は臨時に休館することができる。

(開館時間)

第3条 博物館の開館時間は、午前9時から午後5時までとする。ただし、常設展示及び特別展示の観覧に係る入場時間は、午後4時30分までとする。

2 前項の規定にかかわらず、市長は、特に必要があると認めるときは、開館時間等を変更することができる。

(入館の制限)

第4条 館長は、次の各号のいずれかに該当する者に対しては、その入館を拒否し、又は退館させることができる。

(1) 博物館の施設若しくは設備又は博物館資料等を汚損し、又は損傷するおそれのある者

(2) 他人に危害を及ぼし、若しくは迷惑となる行為をするおそれのある者又はそのおそれのある物品、動物その他これらに類するものを携帯する者

(3) その他博物館の管理上必要な指示に従わない者

(入館者の遵守事項)

第5条 入館者は、次に掲げる事項を遵守しなければならない。

(1) 博物館の施設若しくは設備又は博物館資料等を汚損し、又は損傷しないこと。

(2) 他の入館者に迷惑を及ぼし、又はそのおそれのある行為をしないこと。

(3) 展示資料に触れないこと。

(4) 常設展示室、企画展示室及び資料閲覧室においてインク、墨汁等を使用しないこと。

(5) 許可を受けなくて、展示資料の撮影、模写等を行わないこと。

(6) 所定の場所以外において飲食をしないこと。

(7) 博物館及びその敷地内において喫煙しないこと。

(8) 博物館において、物品その他の物を販売し、又は金品の寄付募集等を行わないこと。

(9) その他係員の指示に従うこと。

(観覧券の発行等)

第6条 条例第4条第1項の観覧料は、常設展示及び特別展示ともそれぞれ観覧券を発行して徴収するものとする。

2 条例第4条第4項の特別観覧券の種類及びその内容は、次に掲げるとおりとする。

(1) 特別展示前売観覧券 市長が博物館の事業上必要と認めるときに発行するもの

- (2) 招待券 博物館資料の提供者その他市長が博物館の事業上特別の理由があると認める者に対して発行するもの
- (3) 優待券 市長が博物館の運営上必要と認める関係機関の者に対して発行するもの
- (4) 定期券 券面に氏名を記載されている者が、その発行の日から1年を経過した日の属する月の末日までの間、特別展示及び常設展示とも観覧できるもの

3 観覧券及び特別観覧券は、再発行しないものとする。

(博物館資料の特別利用の許可等)

第7条 条例第5条の規定に基づく博物館資料の熟覧、模写、模造、撮影、写真原板の使用等(以下「特別利用」という。)の許可の申請は、あらかじめ大津市歴史博物館資料特別利用許可申請書(様式第1号)を館長に提出して行わなければならない。

2 館長は、前項の申請書を受理した場合は、これを審査の上、特別利用の可否を決定し、特別利用を許可するときは、大津市歴史博物館資料特別利用許可書(様式第2号)を当該申請をした者に交付する。

3 館長は、特別利用の許可をする場合において必要があるときは、当該許可に条件を付することができる。

4 特別利用は、館内の所定の場所において係員の指示に従って行わなければならない。

(特別利用の制限)

第8条 館長は、次の各号のいずれかに該当するときは、特別利用の許可をしてはならない。

- (1) 特別利用によって博物館資料の保存に悪影響を及ぼすおそれがあると認められるとき。
- (2) 好ましくない用途に供するため特別利用が行われると認められるとき。
- (3) 他の観覧者の観覧に支障があると認められるとき。
- (4) 寄託された博物館資料の特別利用で、寄託者の同意を得ていないとき。
- (5) 著作権がある博物館資料の特別利用で、著作権者の同意を得ていないとき。
- (6) その他館長が特別利用に供することを不適当と認めるとき。

(特別利用の取消し等)

第9条 館長は、特別利用の許可を受けた者が、次の各号のいずれかに該当するときは、当該許可を取り消し、又は利用を停止させることができる。

- (1) 許可の条件に違反したとき。
- (2) 前条各号のいずれかに該当するに至ったとき。
- (3) その他館長が必要と認めるとき。

(企画展示室の使用許可等)

第10条 条例第6条の規定に基づき企画展示室を使用することができる日は、博物館が企画展示室を使用する日以外の日とする。

2 条例第6条第1項の使用の許可の申請(以下この条において「申請」という。)は、大津市歴史博物館企画展示室使用許可申請書(様式第3号)を館長に提出して行わなければならない。

3 申請は、次の表の左欄に掲げる企画展示室を使用しようとする日の属する期間の区分に応じ、同表の中欄に定める期間(以下「第1次申請期間」という。)又は同表の右欄に定める期間において行わなければならない。

1月6日から 3月31日まで	前年の4月1日から同月10日(休館日に当たるときは、その翌日)まで	前年の5月1日から使用しようとする日の10日前まで
4月1日から 9月30日まで	前年の10月1日から同月10日(休館日に当たるときは、その翌日)まで	前年の11月1日から使用しようとする日の10日前まで
10月1日から 12月26日まで	4月1日から同月10日(休館日に当たるときは、その翌日)まで	5月1日から使用しようとする日の10日前まで

- 4 館長は、申請があったときは、これを審査の上、企画展示室の使用の可否を決定し、使用を許可するときは、大津市歴史博物館企画展示室使用許可書(様式第4号)を当該申請をした者に交付する。
- 5 前項の許可は、申請の順序に従うものとし、申請が同時のときは、協議又は抽選により順序を定める。この場合において、第1次申請期間中にされた申請は、同時にされたものとみなす。
- 6 次の各号のいずれかに該当するときは、第3項の規定にかかわらず、企画展示室を使用しようとする日の1年前から申請をすることができる。
 - (1) 本市又は大津市教育委員会が主催し、又は共催する事業に使用するとき。
 - (2) 国、他の地方公共団体又は公共的な団体が、公益に資すると認められる事業に使用するとき。
 - (3) その他館長が特に必要があると認めるとき。
- 7 館長は、第4項の許可をする場合において必要があるときは、当該許可に条件を付することができる。
- 8 企画展示室の使用は、係員の指示に従って行わなければならない。

(企画展示室の使用の制限)

第11条 館長は、次の各号のいずれかに該当するときは、企画展示室の使用の許可をしてはならない。

- (1) 博物館内の秩序を乱し、又は善良な風俗を害するおそれがあると認められるとき。
- (2) 営利を目的とすると認められるとき。
- (3) 博物館の施設又は設備を損傷するおそれがあると認められるとき。
- (4) 博物館の事業の実施に支障があるとき。
- (5) 歴史、美術等に関する展覧会以外の目的で使用するとき。
- (6) その他博物館の管理運営上支障があると認められるとき。

(企画展示室の使用者の遵守事項)

第12条 企画展示室の使用の許可を受けた者(以下「使用者」という。)は、次に掲げる事項を遵守しなければならない。

- (1) 使用の権利を他人に譲渡し、又は転貸しないこと。
- (2) 博物館の施設又は設備に変更を加え、又は特別の設備を設けないこと。ただし、あらかじめ館長の承認を受けた場合を除く。
- (3) 許可を受けた目的以外に使用しないこと。
- (4) 許可を受けた施設以外の施設に立ち入らないこと。
- (5) 展示品の販売その他の営利行為を行わないこと。ただし、図録等の販売であらかじめ館長の承認を受けたものを除く。
- (6) 火災、盗難その他の事故の防止に留意すること。
- (7) 許可を受けた施設内の秩序を保持するため必要な措置を講ずること。
- (8) その他館長が指示した事項

(企画展示室の使用許可の取消し等)

第13条 館長は、使用者が、次の各号のいずれかに該当するときは、企画展示室の使用許可を取り消し、又は使用を停止させることができる。

- (1) 許可の条件に違反したとき。
- (2) 第11条各号のいずれかに該当するに至ったとき。
- (3) 前条の規定に違反したとき。
- (4) 不正な手段によって使用許可を受けたとき。
- (5) その他館長が必要と認めるとき。

2 前項の規定により使用の許可を取り消し、又は使用の停止を命じた場合において使用者に損害が生じても、市はその責めを負わない。

(原状回復)

第14条 使用者は、企画展示室の使用を終了したときは、速やかに企画展示室を原状に回復しなければならない。前条の規定により使用許可を取り消された場合においても、同様とする。

(博物館資料の貸出し)

第15条 館長は、市長の承認を得て、博物館の所蔵する博物館資料を他の博物館、博物館相当施設その他館長が適当と認めるものに貸し出すことができる。

(博物館資料の寄贈及び寄託)

第16条 博物館は、博物館資料の寄贈及び寄託を受けることができる。

2 寄贈及び寄託を受けた資料は、博物館の展示及び一般の利用に供するものとする。ただし、館長が特に不適当と認めるものについては、この限りでない。

(観覧料の減免)

第17条 条例第7条の規定により博物館の観覧料を減免する場合及びその額は、次に掲げるとおりとする。

(1) 市内に所在する学校教育法(昭和22年法律第26号)に規定する小学校若しくは中学校又は特別支援学校の小学部若しくは中学部の児童又は生徒が、教育課程の一環として常設展示を観覧する場合 全額

(2) 博物館が開催する特別展示を観覧料を納付して観覧した者が、引き続き常設展示を観覧する場合 全額

(3) その他館長が必要と認めた場合 その都度館長が定める額

2 前項の規定により観覧料の減免を受けようとする者は、所定の減免申請書により、あらかじめ館長に申請しなければならない。ただし、前項第2号の規定により減免を受ける場合は、この限りでない。

(観覧料の返還)

第18条 条例第8条ただし書の規定により観覧料を返還する場合及びその額は、次に掲げるとおりとする。

(1) 管理運営上の都合により観覧できない場合 全額

(2) 天災地変その他観覧しようとする者の責めに帰することができない理由により観覧できない場合 全額

(3) その他館長が必要と認めた場合 その都度館長が定める額

(協議会の組織)

第19条 条例第9条に規定する大津市歴史博物館協議会(以下「協議会」という。)に、会長及び副会長を置く。

2 会長及び副会長は、協議会の委員(以下「委員」という。)の互選により定める。

3 会長及び副会長の任期は、委員としての在任期間とする。ただし、再任を妨げない。

4 会長は、会務を総理する。

5 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき、又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。

(協議会の会議)

第20条 協議会の会議(以下「会議」という。)は、必要に応じて会長が招集する。

2 会議は、委員の過半数が出席しなければ、開くことができない。

3 協議会の議事は、出席した委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、会長の決するところによる。

4 協議会は、必要があると認めるときは、関係職員に対し資料の提出を求め、又は会議に出席を求めてその説明を聴くことができる。

(その他)

第21条 この規則に定めるもののほか、歴史博物館の管理運営について必要な事項は、その都度市長が定める。